市町村名			南城市													
	平	成 2	2 4 年度	中縄振興特別	<mark>推進</mark>	交付金	金事業	市町	村分)検	証シ	- - - -	公表用	1		
事業番号	1	-3	1	南城市の魅力発	見″観光	ガイドマ	ップ作成事業	ŧ		沖縄2	21世紀	ビジョン	第3章	ī-3-	-(2)ーイ	
・事業名										基本	計画該	当箇所	市場特性に 展開	対応し	た誘客活動の	か
担当部課名	企	画部	観光商工課	!		美実施 E)年度	平成24年	F度			振興基.			I — 1 -	-(1)	
事業内容	本i め、E	市は世 日本語	世界遺産「斎場 吾のみならず、	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きする観 り 光ガイド・	光施設をマップを付	·有し、年間を 作成する。	・通じて国	国内外加	から多く	(の観光	客が訪れ	ている。本市	†の魅	力をPRするが	11.
実施方法		直接	接実施	口委託	補助		〕負担		の他)		ı			
		(0) 4	当初予算額	24年度 	2.415	254	年度		26年度			27年月			28年度	
	予		5		2,415 2,415											
	算の		曽減額(b−a)	•	0											
予算額・	状況	(d) 前	前年度繰越額	_												
執行額 【単位:千円】		A	. 計(b+d)	1	2,415		0									
(「交付金」+	,		执行済額 	2	2,415											
「市町村負担」 ベース)	うち交付金充当額			-	1,932											
	次年度繰越額 執行率(%)(B/A)			1/	0											
	羊刈1	Jæ	(%) (D/A)	10	00.0%											
	予:	算の	伏況の説明	100%執行												
																_
	H24活動目標(指標)									達成	伏況					
							24年度	Ē		25年度	Ę	2	6年度		27年度	
				A	目	標 (4万部作	成)	()	()	()
			児光ガイドマッ ・英語併記)	プ作成												
					実	績	4万部作	成								
活動目標(指標)					目	標 ()	()	()	()
及び達成状況					-	A.±										
					実	積										
	達成状状況説説明)ガイドマ	?ップを4	万部発行し	t=.									
			H24成果目标	票(指標)			基準値 (年度)		24年度	Ę	25:	年度	26年度		目標値 (年度)	
		皮	が市観光ガイ	バマップ作成	目	標 () (4万部)	()	() ()
		IT	(日本語・英		実	績			4万部	,						1
***	【参考	き 指標	₹】											_		
成果日標 (指標)					目	標() ()	()	() ()
及び進捗状況					実	績										
	進捗状況説明		県内主要施設	に配布し、レンタカ・	一を利用	して南坂	成市を訪れる	観光客等	等の利信	更性が	向上し た	- 0				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
組の検	●配布方法の問題 現在作成したマップの配布先は県内だけであるが、沖縄を訪れる前段階で	●地図だけでなく、県外・国外からの観光客目線にたち、より詳細な地域の情報発信の方法を検討が必要。●県外・国外での配布ルートと予算をあらかじめ確保し、配布を行う方法の検討が必要。

以下の点を踏まえた事業を今後計画し実施する。

- ①詳細な南城市の情報の収集方法、発信ツール ②情報発信の方法(発信先、配布ルート、予算等)

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	事業費 交付対象 交付金		市町村	交付対象		
	事業費 充当額		負担金	外経費		
2,415	2,415	1,932	483	0		

南城市

2,415千円

印刷製本費

2,415千円

丸正印刷株式会社

2,415千円

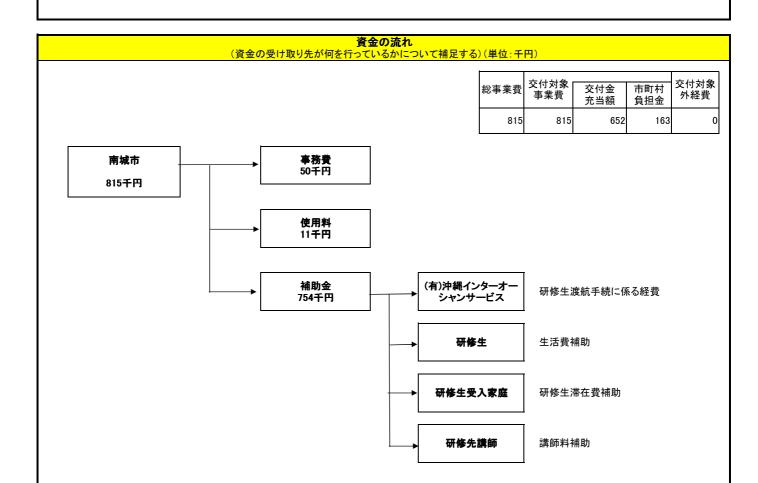
(印刷製本契約)

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明						
使途の流れ、	0	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織						
	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと 考えている。						
検費価	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する書						
- IIII EI	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。						

市町村名			南城市											
	平	成 2	4 年度	中縄振り	具特別	推進交付	 金事業	市町	村分)	検証シ	′ — Ь	【公表用】	1	
事業番号	1	-(4)		海外科	3.住者子弟	.研修•国際≈	交流推進事業		油	縄21世紀	ひょう	第3章	-4-	(1)ーア
・事業名	·	•		74471 12	, II I I I		~ <i>//////////////////////////////</i>			本計画該)形成と多様
担当部課名	企画	部ま	₹ちづくり推	進課		事業実施(予定)年度		F度	河	縄振興基		交流の推進	[— 1 —	.(1)
						(F AE / T I	•			該当筐	所			(1)
事業内容			住国との国際 中学校との3			、本市出身(の海外移住者-	子弟の研	f修生を受り	ナ入れ、本	市の文化	・伝統・各種技	支術等	の研修や研修
実施方法		■直接	実施	□委託	■i	補助	□負担	ロそ	の他()				
				2.	4年度		25年度		26年度		27年月		2	28年度
	予		初予算額			900								
	算		算現額			900								
	の状		i減額(b-a)		_	0								
予算額・ 執行額	況		在度繰越額 計(b+d)			900	0							
【単位:千円】			aT (D+d) 行済額			315	0							
(「交付金」+ 「市町村負担」	·		1] 冯			652								
・中叫竹美足」 ベース)			[操越額			0								
			%) (B/A)		90	0.6%								
	予	算の状	に況の説明				が発生している ったと考えてい		計画してに	・た研修内	容はすべ	て実施した他	也、活動	目標、成果目
	H24活動目標(指標)								達成	状況				
							24年度	Ę	25	年度	2	6年度		27年度
	海外移住者子弟の研修生受入実施 アルゼンチン共和国研修生 1名受入				目標	(1名受	λ)	(:	()	(
江梨口悟				2.7	実 績	1名受力	λ							
活動目標 (指標) 及び達成状況						目標	()	(:	()	(
						実 績								
	達成 状 沢 説 説 明			を1名受入	.し、H24.12/	21~3/8の間、	南城市口	内を中心に	研修を実力	施した。				
			H24成果目标	票(指標)			基準値 年度)		24年度	25	5年度	26年度		目標値 (年度)
			子弟の研修			目標	() (1	1名受入)	()	() (:
			ン共和国研	多生 1名党	5人	実 績			1名受入					/
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】				目標	() ()	()	() (:	
及ひ進捗状況		_				実 績								/
	進捗状況説明	7	? ルゼンチンフ	から研修生	を1名受入	し、H24.12/2	21~3/8の間南	城市内容	を中心に研	修を実施	した。			

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	県系人がアルゼンチンに移民してから3世代目、4世代目へと時代が変遷した。沖縄とアルゼンチンとの結びつきが薄れていく中で、受入家庭を見つけることが困難になっている。	今後の受入方法について、ウィークリーマンションや民泊の活用等を検討す る必要がある。
	△纵 n In l 4	17. 七紅

受入体制を見直しながら、海外在住の県系人とのつながりを活かして、積極的な国際交流を図っていきたい。



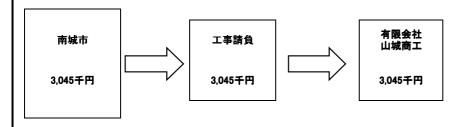
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金の流	0		〇委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、				
の点れ、	0	予算規模は事業内容に見合った適止な規模となっているか。	実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと 考えている。				
評費価目	0		○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する書				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。				

市町村名		南城市										
	平	成24年度	沖縄振興特別	推進交付	寸金事業 (市町村	寸分)村	食証シ	- - - - -	【公表用】		
事業番号 ・事業名	1	-5	久高島離島宿	写泊交流館施	設整備事業			21世紀		第3章	-3-(2)	ーウ
				**	-			本計画該		観光客の受	入体制の整	Ě備
担当部課名	企画	部 まちづくり推	進課	事業実施(予定)年		度	沖綿	選振興基 該当箇		Ш	-1-(1)	
事業内容	夏增整備:	易の高温時におい する	ても、島民と観光客等	穿が快適に交	流できる環境を	整備する	ため、久高	島の観光	拠点施設	みである宿泊:	交流館に空	調設備を
実施方法]直接実施	■委託 □	補助	口負担	□その	他()				
			24年度		25年度	2	.6年度		27年月	度	28年月	芰
	予	(a) 当初予算額		,170								
	算	(b) 予算現額		,045								
	の状	(c) 増減額(b-a)		125								
予算額 · 執行額	況	(d) 前年度繰越額										
#八17韻 【単位:千円】		A. 計(b+d)		,045	0							
(「交付金」+	·	B. 執行済額	-	,045								
「市町村負担」 ベース)	うち交付金充当額		2	,436								
	次年度繰越額			0								
	執行率(%)(B/A)		10	0.0%								
	予算の状況の説明 不用額125千F 鑑みて適正で		不用額125千円が発 鑑みて適正であった	き生しているだ こと考えている	が、当初計画して る。	こいた事業	美内容はす	べて実施	した他、沿	舌動目標、成	果目標の達	[成状況を
								達成	状況			
		H24活動目	票(指標)		24年度		25年	 度	20	 6年度	27年	<u> </u>
				目標	(空調設備	整備)	()	()	()
江弘口悟		、同岛旧归又 测路	ツエ 柳 欣 禰 走 禰	実 績	空調設備整備							
活動目標 (指標) 及び達成状況				目標	()	()	()	()
				実 績								
	達成 状 況 説 説 明			空調設備を4	台整備した。							
		H24成果目	票(指標)		基準値 年度)	2	24年度	25	年度	26年度		提信 年度)
	<i>)</i> :	ス高島宿泊交流館	の空調記供救借	目標	() (空調]設備整備)	()	() ()
			·›포혜ᇠ뺶포뺴	実績		空調]設備整備					
成果目標 (指標)	【参考	き指標 】		目標	() ()	()	() ()
及び進捗状況				実績								
	進捗状況説明	久高島の夏場の 館に空調設備を	の高温時においても、 ・整備する。	. 島民と観光	客等が快適に交	流できる	環境を整備	するため)、久高島	の観光拠点	施設である	宿泊交流

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	久高島の宿泊交流館に空調設備を4台設置し、夏場の高温時においても、 島民と観光客等が快適に交流できる環境を整備することができた。	施設の利用率を向上させる必要がある。
	会後の取り組	五十4

・当施設の宿泊客や、施設を訪れた観光客等と島民が交流するための仕組みをつくり、島の活性化を図る。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
3,045	3,045	2,436	609	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使金のの流	0	支出先の選定方法は妥当か。						
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当で					
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	あったと考えている。					
-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						

市町村名	南城市										
	平成24年度	沖縄振興特別	推進交付	寸金事業	市町村名	分)検	証シ	- -	【公表用]	
事業番号 ・事業名	1-6	世界遺産「斎		辺整備事業			21世紀		第3章	1 − 3 −	ー(2)ーウ
* 尹木山			事業実施	_			計画該		観光客の受	全入体	制の整備
担当部課名	教育部	文化課	(予定)年		6年度 	沖縄	振興基 該当箇		I	<u>I</u> − 1	- (1)
事業内容	魅力的な観光地づくり	を図るため、世界遺	産「斎場御嶽	・ は」周辺一帯の制	策道、手摺り	リ等の整	備及び用	月地購入?	を行う。		
実施方法	■直接実施	■委託 [口補助	□負担	□そのイ	也 ()				
		24年度		25年度	26年	度		27年月	变		28年度
	(a) 当初予算額 (b) 予算現額		,835								
	算 (c) 増減額(b-a)										
7 Mr. 64	状 (d)前年度繰越額	<u> </u>	0								
予算額 • _ 執行額	A. 計(b+d)		,835	0							
【単位:千円】	B. 執行済額		,187								
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付金充当額	71	,349								
ベース)	次年度繰越額		0								
	執行率 (%) (B/A)	9.	7.1%								
	予算の状況の説明	・不用額が2,648千円 ていた事業内容はす									
						達成	状況				
	H24活動目村		24年度		25年月	专	2	 6年度			
	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備		目標	(実施計画	策定) ()	()	()
	・実施計画の策定	実 績	実施計画:	策定							
		7 Nov. +1- 144	目標	不動産鑑定 (測量及び地)	()	()
活動目標	世界遺産「斎場御嶽」居 •不動産鑑定、用地測量	辺整備 遣及び地形測量の実		量の実施不動産鑑定、	, , ,					+	
に (指標) 及び達成状況	施		実 績	量及び地形測施							
			目標	(2筆) ()	()	()
	世界遺産「斎場御嶽」馬 ・公有財産購入	実績	2筆								
			天根	2事							
	業務、不動産鑑	也取得のために民有: 鑑定を実施した。また、 策定委員会を2回開作	、斎場御嶽周	辺整備事業計 こ計画を策定し <i>†</i>	画策定のため						斎場御嶽周辺
	H24成果目标	票(指標)		基準値 (23年度)	24年	度	25:	年度	26年度	Ę	目標値 (年度)
			目標	(0件)(整備記	手)	()	()	()
	世界遺産「斎場御瘡	扎周辺整備着手	実績		整備	整備着手					
成果目標(指標)	【参考指標】		目標	() ()	()	()	()
(指標) 及び進捗状況			実 績								
		御嶽」周辺整備事業 周辺整備実施計画か									

取組の検証 2000年に斎場御嶽が世界遺産に登録されてから、来訪者が年間3万人から43万人に増加した。この影響で、石畳が擦り減るなどの問題が発生したため、整備する必要がある。また、本事業で策定した「斎場御嶽周辺整備実施計画」を踏まえ、遺構検出及が、整備する必要がある。また、本事業で策定した「斎場御嶽周辺整備実施計画」を踏まえ、遺構検出及が、整備する必要がある。また、本事業で策定した「斎場御嶽周辺整備実施計画」を踏まえ、遺構検出及が、整備する必要がある。また、本事業で策定した「斎場御嶽に入る前に身を清めたとされる泉)が枯れていたり、石畳参道や戦争遺跡が崩壊している箇所があるなど整備を要する箇所が見つかった。

今後の取り組み方針

世界遺産「斎場御嶽」の価値をさらに高めるため、計画に基づき参道やウローカー(※聞得大君が斎場御嶽に入る前に身を清めたとされる泉)等、周辺整備を実施する。また、平和学習に活用してもらうために、太平洋戦争の戦跡を整備する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) 交付対象 交付対象 交付金 市町村 総事業費 事業費 外経費 充当額 負担金 89,187 89,187 71,349 17,838 斎場御嶽周辺整備実施計画策 委託料 株式会社 真南風 定にかかる委託業務 6,898千円 3,003千円 斎場御嶽ウローカー周辺用地・ 株式会社 向陽技研 地形測量にかかる委託業務 3.895千円 公有財産の購入(南城市知念 南城市 国有地の購入(1筆) 公有財産購入費 字久手堅255番 面積11,987 81,655千円 52,700千円 89,187千円 公有財産の購入(南城市知念 民有地の購入(1筆) 字久手堅255番1 面積7,011 28,955千円 報償費、需用費、役務費 事務費 634千円

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。					
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	〇委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。				
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する書				
- Im 121	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。				

市町村名			南城市														
	平	成	2 4 年度	中縄振興特別	推道	性交付 :	金事業	市町	村分)検	証シ	— Ь	【公	表用】			
事業番号	1	- (7))	南城ウェ	ルネス	ス機能拡張	事業			油縄:	21世紀	ピペジョトノ		第3章	-3-	(2)ーア	
・事業名				111700 7 = 7		* IX IL JIL JI					計画該		国際的な沖縄観光ブランドの確立			確	
担当部課名	企画	部	観光商工課			業実施 定)年度	平成24年月	ŧ		沖縄振興基本方針 該当箇所			<u></u>	Ш	-1-	-(1)	
事業内容			等の誘客促進る ム等を構築する		め、観光資源を活用し		身の再生(ウ	ェルネス	く)を柱(とした観	見光プロ	グラムの	実践	及びNFC	タグ等	穿を活用し た	こ認
実施方法		直拉	妾実施	■委託 □袝	亅		負担	□その	他()							
				24年度		25	年度		26年度	ŧ		27年月	芰			28年度	
	(a) 当初予算額 (b) 予質現類				,622												
	算の		予算現額 増減額(b-a)	18	,622 0												
	状		前年度繰越額	_	٧												
予算額 _ 執行額	況		. 計(b+d)		,622		0										
【単位:千円】	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		執行済額	18,622													
(「交付金」+ 「市町村負担」			交付金充当額	14	,897												
ベース)			度繰越額														
	執行	宁率	(%) (B/A)	10	0.0%												
	予:	算の	状況の説明														
											達成	状況					
	H24活動目標(指標)					Г	24年度	<u> </u>	П	25年月			6年月	±		27年度	
										254-13	Ž.	2	0413	Ż.		27年段	
	非接触IC等を活用した認証システムの構築						非接触IC等 用した認記 テムの権	Eシス) 構築)	()	()
活動目標					実		■接触IC等を 認証システム										
(指標) 及び達成状況					目	標 ()	()	()	()
					実	積											
	達成状況説明	割	⊧接触IC等を活	用した認証システム	を構築	築すること	ができた。										
			H24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年月	支	25:	年度		26年度		目標値 (年度)	
	非接	触IC	等を活用した記	忍証システムの構築	目	標 (_) (記	F接触IC E活用し 認証シス ムの構象	た テ) を	()	() ()
					実	積		非接続を認識	触IC等を 証システ 築	活用し ムの構							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	き指 核	票】		目	標 () ()	()	() ()
					実	3. 績											
	進捗状況説明		‡接触IC等を活	用した認証システム	を構	築すること	ができた。										

#進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 本事業が円滑に推進していくためには、市内のカフェやレストラン、体験施設 などがなるべく多く参加し、利便性が高くなる必要があるが、これまでの観光 有報サイトと違って、認証機器を実店舗に置く事への抵抗感や通信環境が必要なことから、参加事業所を集めるのに苦慮した。特に知念地区、玉城地区においては、ADSLや光といった有線で安定した通信サービスが提供されておらず、通信環境が不安定なことから、導入後にサービスが止まってしまっては困るという意見も複数あった。 な著条地の検証(効率の更なる向上の視点) 先に導入した事業所と連携をとりながら、先行導入事例などを交えて新規導入事業所の開拓にあたる必要があると考えられる。 特に知念地区、玉城地区においては、ADSLや光といった有線で安定した通信サービスが提供されておらず、通信環境が不安定なことから、導入後にサービスが止まってしまっては困るという意見も複数あった。

今後の取り組み方針

今後は、参加事業所と協力して、内容を充実させるとともに、事業を市内外へ広く周知をする必要がある。 また、利便性を向上させるため、ポイント制度の導入についても検討していく必要がある。

資金の流れ

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
18,622	18,622	14,897	3,725	0

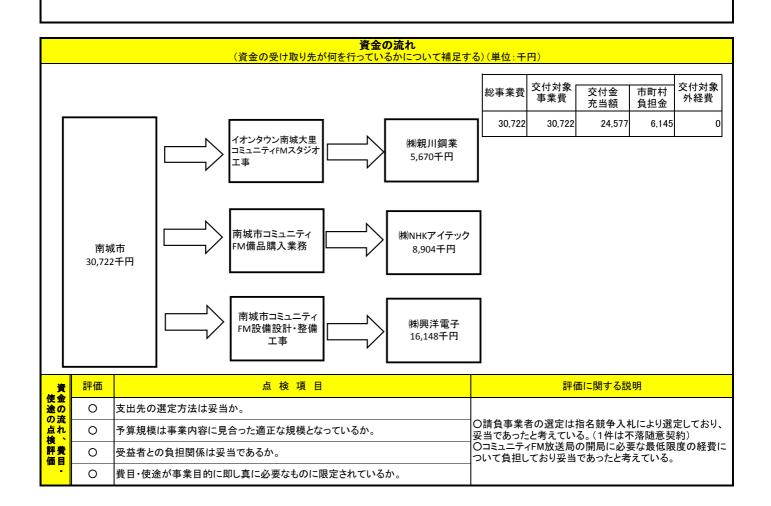


資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
使金のの流	0	支出先の選定方法は妥当か。			
点れ検、	0		○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定して り、提案内容、企業組織、実績等を勘案したうえで選定して		
評費価目	_		が、従来内谷、正来相極、天横寺を動来したりんで歴史しており、妥当であったと考えている。		
-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	南城市	<u> </u>							
	平成24年	度沖縄振興特別	l推進交付	金事業(ア	5町村分	〉検証:	シート	【公表用】	
事業番号 ・事業名	1 -®	第1次コミュニ	ニティFM放送施語	投整備事業		沖縄21世		第3章	-3-(2)-ウ
	A = +0	11 1// N/L=m	事業実施	T-0045-		基本計画		観光客の受ん	入体制の整備
担当部課名	企画部 まちづく	り推進詸	(予定)年度	平成24年度		沖縄張興 該当	基本方針 箇所	Ш	-1-(1)
事業内容	観光情報、市内 <i>0</i> う。	のイベント情報、緊急時に	には災害情報等	を提供することを	を目的にコミ	ュニティFMカ	放送に必要な	€演奏所及び	送信所の整備を行
実施方法	■直接実施				コその他 (
	(-) 水井叉笛	24年度		5年度	26年月	变	27年月		28年度
	(a) 当初予算 (b) 予算現額		0,722 0,722						
	第 の (c) 増減額(b		0,722						
- # # #	状化光石之相		0						
予算額 _ 執行額	況 (d) 則年度深 A. 計(b+c		0,722	0					
【単位:千円】	B. 執行済額		0,722						
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付金充当	<mark></mark> 当額 2	4,577						
ベース)	次年度繰越額	į							
	執行率(%)(B,	<mark>/A) 1</mark> 1	00.0%						
	予算の状況の説明 当初計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標が達成できた状況を鑑みると適正に執行 た。								らと適正に執行され
						達	成状況		
	H24活動	動目標(指標)		24年度		25年度	2	6年度	27年度
		★ 77 - 6245 W. 1484-14 - 0.11 7	目標	コミュニティF が送施設整	·M 備)() ()	()
	FMスタンオ内装工 送信所、局舎の設	事及び放送機材の購入 計、工事	実績	コミュニティF 放送施設整	M				
活動目標 (指標) 及び達成状況			目標	() () ()	()
AC EMPOS			実 績						
		rFM放送設備の整備(FN 「FMなんじょう」を開局す			材の購入、送	送信所、局舎	の設計、工	事)を実施し、	南城市コミュニティ
	H24成与	果目標(指標)		基準値 (年度)	24年月	变	25年度	26年度	目標値 (年度)
	南城市コミュニテ	ィFM放送局の放送開始	目標 (-)	南城市コミ (ニティFM 送局の開	放) ()	() ()
			実 績		南城市コミュ FM放送局の				
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】		目標()	() ()	() ()
			実 績						
	進 歩 大 完 形放送局	「FMなんじょう」の開局に	より、観光情報	、市内のイベント	、情報、災害	情報等を提	供する環境が	が整った。	

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)								
取組の検証	・南城市の地形的な問題による受信可能エリアの縮小 ・大型商業施設へのコミュニティFMスタジオ出店に伴い、工期や設計内容に 制限があり整備に苦慮した。	・南城市内の放送受信可能エリアの拡大を目指し、第2次コミュニティFM放送 施設整備事業を実施する。								
	今後の取り組み方針									

南城市内の放送受信可能エリアが88%のため、南城市内の放送受信可能エリアの拡大を目指し、第2次コミュニティFM放送施設整備事業を実施する。



市町村名			南城市											
	平	成 2	4 年度	中縄振興	具特別	推進交付	金事業(市町	村分)検	証シ	- 	【公表用】	<u> </u>	
事業番号 ・事業名	1	-9			準天頂律	星実証実験	事業			21世紀		第3章	-3-	(2)ーウ
						事業実施		_		計画該		観光客の受	入体制	の整備
担当部課名	企画	部 政	策調整課			(予定)年度		ŧ	沖縄	振興基 該当箇		Ш	(1)	
	観光	振興を	図るため、準	≛天頂衛星 <i>0</i>	の高精度位	位置情報を活	用した、音声(こよる観:	光案内アプリ	ケーショ	ンの開発	及び実証実駒	倹を行な	よう 。
	星シス	ステム	で、これらの	軌道は、軌流	道傾斜角	(赤道面から	衛星が見える。 の軌道面の傾 100%カバーする	き)を持つ	って、地球の	自転と同	じ周期で			
実施方法		直接	 実施	■委託		 浦助	□負担		の他()				
				24	l年度	2	5年度		26年度		27年月	变	2	8年度
		(a) 当	初予算額			35								
	予	(b) 予	算現額		3,8	335								
	算の	(c) 增;	減額(b-a)			0								
艺 衛 奶 .	状況	(d) 前:	年度繰越額		_									
予算額・ 執行額	沈		計 (b+d)		3.8	335	0							
【単位:千円】			行済額			335	•							
(「交付金」+ 「市町村負担」	+ ;		寸金充当額			068								
ベース)	<u> </u>				5,0	0								
	次年度繰越額 執行率(%)(B/A)				100	-								
	¥从1	丁举(5	%) (B/A)		100	.0%								
	- 子1	音の状	況の説明											
	1, 2	#- 02·DC	ンにマン田につ」											
										達成	计 沿			
	H24活動目標(指標)					,				连队	11/11/1			
							24年度	Ę	25年月	芰	2	6年度		27年度
						目標	(実証実験 施	の実)	()	()	()
	準天]	頂衛星	実証実験の	実施	_	実 績	実証実験の)実施						
活動目標														
(指標) 及び達成状況						目標	()	()	()	()
						実 績								
	達成			F									. 0	
	状						り歩行に合わせ 青報を活用し、Ⅰ							
	況説						倹してもらい、ア							
	明													
			H24成果目棋	票(指標)			基準値 (年度)		24年度	25	年度	26年度		目標値 年度)
						目標	() (^{\$}	証実験の 実施)	()	() ()
	準天]	頂衛星	実証実験の	実施	_	実 績		実証	実験の実施					
_	【参老	指標】			+			-						
成果目標 (指標)		111111111111111111111111111111111111111				目標	() ()	()	() ()
及び進捗状況						実 績								
	進				<u> </u>			•						
	捗 状況	アブた。		の開発及び	バアンケー	ト調査の結り	果を踏まえ、新	たな観光	と案内のありた	方、活用:	方法等に	ついて検討を	深める	ことができ
	説明													

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) 取 組 市の重要な観光拠点である「斎場御嶽」は、世界遺産であるため、表示板 地理的条件の変化に伴い、電波の受信状況が異なることから、これに対応 の設置等が制限されており、観光客等に十分な案内ができない状況にある。 機器を活用した観光案内を行うことで価値を高めたいが、地理的条件による の したサービスを検討する必要がある。 また、ジャケット型ウェアラブルスピーカーについても、抵抗感を軽減し、受信状況を改善する必要がある。 検 電波状況、スピーカーを備え付けたジャケットへの抵抗感など解決すべき課題がある。 証

今後の取り組み方針

今回の実験で、スマートフォンを使った音声案内アプリケーションの需要や有効性を確認することができた。 しかし、今回制作したアプリケーションを実用に耐えうるものにするためには、試行錯誤を重ねる必要が求められるが、現時点では、打ち上げられた準天頂衛星が 1機であり、受信用のモジュールも発展途上にあるため、、準天頂衛星の動向を踏まえ、今後の観光振興に生かしたい。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
3,835	3,835	3,068	767	0

委託料 西日本電信電話株式会社 沖縄支店 3,835千円 3,835千円 3,835千円

準天頂衛星実証実験にかかる委託業務

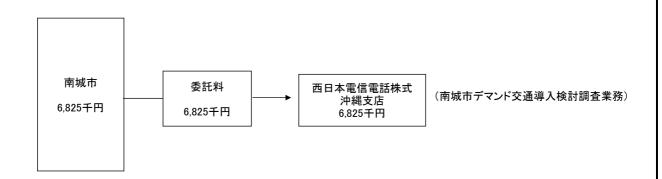
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	- ○ 委託事業者は、本市の既存アプリの構築業者を選定する		
点れ検、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	したで、時価に比して著しく有利な価格で締結することがで したで、時価に比して著しく有利な価格で締結することがで ーき、随意契約で妥当であったと考えている。		
評費価目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇費目・使途については事業目的達成の観点から適正で		
- 144	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	−あった。 ┃		

市町村名			南城市													
	平	成 2	4 年度	中縄振り	具特別 持	推進交付	 金事業	市町	村分)検	証シ	- - - -	【公表	用】		
事業番号 ・事業名	1	-10			デマンドダ	通導入検討	討業務					ビジョン	第	3章-3	3-(2)-ウ	
			<u> </u>			事業実施				基本語	計画該	当箇所	観光客	の受入(本制の整備	
担当部課名	企画	部 政策	策調整課			(予定)年度		Ę			中縄振興基本方針 該当箇所			ш-	1-(1)	
事業内容	滞る	生型観光	ćを推進する	らため、「デュ	マンド交通	システム」を	活用した検討	業務を行	い、実	用化に「	句けたね	剣証を行 う	5.			
実施方法		直接到	€施	■委託	口衫	亅	□負担	ロそ	の他	()	_					
				24	l年度		25年度		26年月			27年	年度 28年度 28年度 28 年度			
	-7.		刀予算額		6,9	15										
	予算	(b) 予算	現額		6,9	15										
	の 状	(c)增源	或額(b-a)			0										
予算額・	況	(d) 前年	F度繰越額		_											
執行額 【単位:千円】		A. 1	計 (b+d)		6,9	15	0									
		B. 執行	済額		6,8	25										
(「交付金」+ 「市町村負担」		うち交付	金充当額		5,4	60										
ベース)	次年度繰越額				0											
	執行	亍率(%	6) (B/A)		98.	7%										
	予:	算の状況	兄の説明	不要額が90 適正に執行		しているが	、当初計画して	いた事業	業内容に	はすべて	実施し	たほか、	活動目標	票、成果	目標が達成され、	
	H24活動目標(指標)										達成	伏況				
							24年度			25年度		2	6年度		27年度	
	デマ	デマンド交通の運行実施計画(案)策定			*************************************	目標	(運行実施計画(案)策定)		()	() ()	
						実 績	運行実施計画(案)策定									
活動目標 (指標) 及び達成状況									()	() ()	
及び建筑状况																
	達成 状 沢 説 明					るため、観光	· 七客や市民の移	動実態	につい	てアンケ	-—卜調	査を行うる	ともに、	南城市	の公共交通に関	
		F	124成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年月	度	25:	年度	264	年度	目標値 (年度)	
		N I N A M	の実行中が	t=1 = /字\/	* =	目標	C) 運行第	実施計画((案)策定()	()	()	
	7 4.	ント文連	[07] [2] 关州	拖計画(案)第	永 足	実 績			行実施 (案)策							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	脊指標 】				目標	() () ()	()	()	
						実 績										
	進捗状況説明	デマ する	ンド運行実課題整理を		を を 策定する	 るため、観光	 光客や市民の移	動実態	につい	てアンケ	·—卜調	査を行う。	とともに、	南城市	の公共交通に関	

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本市の現状・課題(観光客、市民移動等をアンケート調査等により実施)の把握、県外のデマンド交通等の事例を研究、デマンド交通導入に向けた検討により、デマンド交通の運行実施計画(案)策定を行った。	

平成25年度~平成27年度に運行管理システムの構築、実証実験(試験運行)の実施、関係機関との協議等を行い、平成28年度から本格運行を図る。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
6,825	6,825	5,460	1,365	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使金の流	0		○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織					
の点検評価	0	予算規模は事業内容に見合った適止な規模となっているか。 	実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 考えている。					
	_		〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する書					
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。					

市町村名		南城市												
	平	成24年度	<mark>沖縄振興特別</mark>	推進	交付会	金事業	(市町	村分)検	証シ	- ト	【公表用	1	
事業番号 ・事業名	1	-11)	なんじょうハ	ートプロ・	ジェクト扌	推進事業					ビジョン 当箇所			-(2)ーイ た誘客活動の
担当部課名	企画	部 まちづくり推	進課		美実施 ≧)年度	平成24年度	ŧ	_		振興基 該当箇	I — 1 -	-(1)		
事業内容			成市のイメージアップ 観光PR等を実施す		ため、南	城市の地形	である「ノ	/ \—ト」	を一体	的に捉	えたまちつ	ぶくり、市キャ	ラクタ	ー「なんじい」を
実施方法]直接実施	■委託 □]補助		〕負担	ロそ	の他	卢 ()					
			24年度		254	年度		26年月	隻		27年月	度		28年度
	-	(a) 当初予算額	10	0,000										
	予算	(b) 予算現額	10	0,000										
	の状	(c) 増減額(b-a)		0										
予算額・	況	(d)前年度繰越額												
執行額 【単位∶千円】		A. 計(b+d)		0,000		0								
(「交付金」+	ļ	B. 執行済額		9,969										
「市町村負担」 ベース)		うち交付金充当額		7,975										
		次年度繰越額 		0 99.7%										
	予	算の状況の説明	不用額が31千円 か、活動目標、成り										はす~	くて実施したほ
		H24活動目	=(指煙)		_					達成	状況			
		112 1/12/3/11	X (10 X)			24年度	Ę		25年度		20	6年度		27年度
	•PR	品パッケージの開発 グッズ等の制作及で イベントの開催		II .		3品目 (制作及び配布) 1回 3品目)	()	()
活動目標		1 2 1 07 13 12		実		制作及び 1回		,						
(指標) 及び達成状況)	()	()	(
	達成状況説	·「市のキャラク	ターである「なんじ」 制作及び配布を実 17日に那覇市国際ご	施した。	した商品									
	明			- 1 21111		基準値								目標値
		H24成果目标	票(指標)			(23年度)		24年月		25	年度	26年度		(年度)
		品パッケージの開発 グッズ等の制作及で		目	標 (0品目) (1	3品目 1,500化 20,000 3品目	固)	()	() ()
		イベントの開催		実	績	/		эпп E 11,500 20,000	個					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	県内	考指標】 外の情報誌(メディ **)	ア)等への掲載(出	目	標 (7回) (22回)	() ()
2.2 2.30	演回			実	績	/		、アプ、新聞:						/
	進捗状況説明	商品パッケージ PRグッズ等の1 国際通りで実施	(3品目)のデザイン 1,500個の制作及ひ された観光イベント	配布を行	うった。			引いたこ	ことで南	城市の	PRが図ら	れた。		

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	全国的なゆるキャラブームに沿って事業を推進したため、効果的なPR活動 を行うことができた。引き続き、市民等との協働で事業を継続する必要があ	「なんじょうハートプロジェクト」の運営主体として事業を継続していただけるよう、商工会、観光協会、民間事業社、一般市民などと連携を図る必要がある。

・観光協会、商工会、事業者、市民等で構成する市民サポーター集団「ハートのまち・なんじい隊」を設立し、企画立案段階から情報開示、情報交換を行う。 ・今後は市民レベルで南城市を発信・活性化していけるような継続的な仕組みを構築する。

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額						
9,969	9,969	7,975	1,994	0				

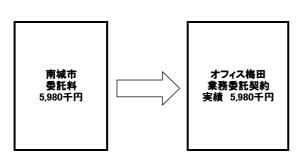


資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明						
使金金の	0	支出先の選定方法は妥当か。	- -○委託事業者は公募型プロポーザル方式により選定して						
の点検評価	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	り、妥当であったと考えている。 〇パッケージ開発については、デザイン費と効果検証のたる						
	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	のパッケージ製作費のみを市で負担しており、妥当であった と考えている。						
• Im 14	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	と考えている。						

市町村名		南城市												
	平	成24年度	中縄振興特別	推進交	₹付₫	金事業(市町	村分)	検記	IEシ	-	【公表用]	
事業番号	1	-(12)	たんじ	よう誘客対	t 笨 主:	坐			沖縄21	1##\$21	#85=5.	第3	章-3	ー(2)ーイ
・事業名		(L)		,	124				基本計				に対応	した誘客活動の
担当部課名	企画	部 観光商工課		事業写 (予定)		平成	24年度		沖縄振討	選集 基本		展開	Ⅲ — 1	- (1)
事業内容	なぞ解さ」の旅行スケンユールを企画する				豊富な	コンテンツカ	に魅力を	ふるスト-	ーリーを	加え、	地元で <i>0</i>)宿泊(ホテ	・ル・民	泊)をしながら「
実施方法]直接実施	■委託	補助]負担	□そ	の他()					
	_		24年度		254	年度		26年度			27年月	度		28年度
		(a) 当初予算額	(6,000										
	予算	(b) 予算現額	(6,000										
	の	(c) 増減額(b-a)		0										
予算額・	状況	(d)前年度繰越額	_											
執行額 【単位:千円】		A. 計(b+d)	(6,000		0								
(「交付金」+		B. 執行済額	Ę	5,980										
「市町村負担」		うち交付金充当額	4	1,784										
Α,		次年度繰越額		0										
	執行	亏率(%)(B/A)	9	99.7%										
	予:	算の状況の説明	不用額20千円は入 成できた状況を鑑∂				た事業の	内容につ	いては	すべて	実施した	:ほか、活動	助目標.	、成果目標が達
										達成	犬況			
		H24活動目標	票(指標)			24年度		,	 25年度		0.	 6年度		27年度
						24千段		-	20千度) 十 茂		27年度
				目標	(20)	()	() ()
	・ミス	テリーツアーの開作	Ĭ											
				実績	実績 2回									
活動目標 (指標) 及び達成状況	71			目標	Ę ((調査の実施)(()	() ()
	• } >	ケート調査の実施		実 績	i	調査の実	施							
	達成状況説明	平成25年3月16 回開催した。	日(土)・17日(日)、	参加者の	申込定	€員を1回/5	0名として	て、ミステ	テリーツ	アーin	Nanjo 20)13「南城市	ī最後(0日」と企画し2
		H24成果目	票(指標)			基準値 (年度)		24年度		254	年度	26年	芰	目標値 (年度)
				目標	((100名) ()	()	()
	ミスラ	テリーツアーの参加	者数				_							
				実 績	į			100名						
成果目標(指標)	【参考	き指標 】		目標	(:) () ()	()	()
及び進捗状況				実 績										
	進捗状況説明	募集定員100名 その後の問い合	(1回/50名)に対し さわせについてはキ				の100名	るに達し	 t:.					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・市外へ向けての誘客対策の実証実験を検証であったが、市民からの申込が多かったため、市民以外の申込を優先して市民向けに別枠を設けて対応した。 ・参加者への出題やコース設定等、ツアー企画をより工夫していく必要がある。	・好評につきツアー回数及び定員の増や市の観光資源をさらに活用したルート設定等について検討する。
	A 46 114	A1

なんじょう誘客対策事業成果報告書(事業名:ミステリーツアーin Nanjo 2013)の内容を検証し今後の取り組みについて検討する。



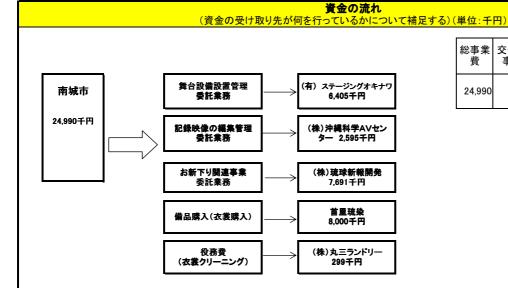
総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象		
	事業費	充当額	負担金	外経費		
5,980	5,980	4,784	1,196	0		

j	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の点		支出先の選定方法は妥当か。						
点検	i O	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	請負業者の選定は、南城市プロポーザル方式実施要綱に					
評多	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	り選定しており妥当であったと考えている。					
, 1		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						

市町村名		Ī	南城市																	
3	平成	2 4 4	年度沖約	電振興	特別推	進交	を付金	全事:	業(市	町木	(分)	検	証シ	- -	【公	表用	1			
事業番号	1	— (13)		お新	下り(聞得)	大君目	0位式等	车) 再王	見事業			油線	21世紀	ドジョン		第3章-	-3-	(2)ーア	,	
・事業名				00 491	1 2 (1411412	VII A	- 1220	.,,,,,,	<i>7</i> 1 - 7 - 7				計画該				縄観き	光ブランI	ドの	
担当部課名	企画	部 観光	治商工課				業実施定)年度		成24年度			沖和	現 表 表 表 表 生 表 生 表 生 表 生 表 生 も た り も り も り も り も り も り も り も り も り も		確立		-1-	(1)		
事業内容			場御嶽」は 別の即位式			ポット	·ELT:	多くの	観光客に	親しまれ	∪まれています。魅力的な観光は			也づくり	りを促進	するカ	ため、「お	衸新		
実施方法		直接実	施	■委託	□ネ	甫助		□負	担	ロそ	の他	()							
				:	24年度		2	25年度		2	26年度	Ę		27年度				28年度		
		(a) 当初	予算額		25,0	00														
	予算	(b) 予算	現額		25,0	00														
	の 状	(c) 増減	額(b-a)			0														
予算額・	況		度繰越額		_															
執行額 【単位:千円】			† (b+d)		25,0															
(「交付金」+	(B. 執行			24,9															
「市町村負担」 ベース)	-1-		金充当額		19,9	0														
		次年度網	新述。 (B/A)		100.															
	羊 刈1]华(%	5) (D/A)		100.	U%														
	予	算の状況	元の説明		こついては、 Eし、活動目											た事業内	内容に	ついてに	はす	
				C 50%	30(713)1	PK \ 7.	<i>7</i> /7/ LI	,,,,, <u>~</u>		. ,,,,,,	. эш- , ,	<u> </u>		, С 1 0 / С	0					
	達成状況 H24活動目標(指標)																			
		Н	24沽勁日령	(指標)			[24年度			25年	 度	2	6年度			27年度		
	お新⁻	下り記録	映像の作成	ţ		目	標	(6本)	()	()	()	
			120分×3本 録映像80分																	
	へ	:// · / · III :	M 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		実績		6本													
活動目標(指標)及び達成状							120	,	o == ##		,			,			,			
況	お新っ	下りリー -	フレット作成			日	標	(2万部)	()	()	()	
	00 491	. , , .	7 7 1 1 7 7	•		実	績		2万部											
	達成状況		!回南城市ま													^z 成24年	10月	13日 於	€:南	
	況説明	姚巾	グスクロート	·公园) ā	また、わ新し	`90)	保体で	· 昳 涿 (で記鋏りる	9 ८८ ७	1217—	· <i>J</i> D;	ソトリンイドル	X÷₹1⊺	つに。					
		Н	24成果目標	[(指標)					基準値 年度)	2	24年度	Ę	254	丰度	2	6年度		目標値 年度		
	お新下り記録映像の作成 (全記録収録120分×3本)		<u>.</u>		B	標	()	(6本)	()	()	()		
			120分×3本	:)						<u> </u>					ľ					
	(編集	済み記録	録映像80分	·×3本)		実	績				6本							/		
成果目標(指							1m			,	o T #7	, ,	,	,	,					
標)及び進捗状	お新	도 니니—	・フレット作	ьť		B	標	()	(2万部	S)	()	()	()	
況	の3利	. 99	ンレフI*IF	1-24		実	績	_	/		2万部	3							\neg	
	進							_											\dashv	
	捗	第2	!回南城市ま	きつりにあ	わせて「お	新下り	ノ(聞得	大君目	即位式等)	」の舞	台及7	. 100	人行列を	開催しナ	<u>-</u> 。(3	平成24年	 10 F	13日 #	於:	
	状況	南城	市グスクロ・ (13日・14日	-ド公園)																
	説明	717	√10Д-14Д	ジ川 口)																

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	の検証	・100人行列を実施するにあたり、一般公募、イベントの告知の準備期間に時間を要した。 ・沖縄で初めての「お新下り」聞得大君の即位式100人行に関する事業では、舞台演出と一般公募者(100人行列)の衣裳合わせ等、稽古に時間を要した。 ・台風時期の開催となり、また野外での開催は天候により延期又は中止の判断もあり得た。	・事業実施については、天候など含め開催時期を決定する必要がある。 ・100人行列の実施については、一般公募に向けての情報発信を充分に 行う必要がある。
ı			

「お新下り」を新たな観光資源として活用していくため、衣裳・備品等の貸出等を行う等、お新下りを活用した誘客対策事業については、今後も継続して企画 実施するとともに映像やパンフレット等を用いて県内外にPRする。



総事業	交付対象	交付金	交付対象				
費	事業費	充当額	外経費				
24,990	24,990	19,992	4,998				

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の点が	0		○委託事業の性質が競争入札に適しないことから、地					
点れ、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき業 と随意契約したが、妥当であったと考えている。					
検禁価	_		〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要 なものなのか等について額の確定時において支出等に					
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	関する書類により確認、適正であった。					

市町村名		南城市										
	平月	【24年度》	中縄振興特別	推進交付	寸金事業	(市町本	寸分)検	証シ-	- ト	【公表用】		
事業番号 ・事業名	1 –	-14	電動自転車に	よる市内観	光活用事業			21世紀년		第3章	-3-(2)-ウ	
				事業実施	<u> </u>			計画該当		観光客の受	入体制の整備	
担当部課名	企画部	観光商工課		(予定)年			沖縄	振興基本 該当箇所		Ⅲ-1-(1)		
事業内容			御嶽」をはじめ、歴り 足進するため、レンタ			見光入域容	らも年々増加	コしている。	。観光地	の環境負荷	経減など、自動፤	車に
実施方法		直接実施	■委託 □補	補助 □負担 □その他(也 ()					
			24年度		25年度	2	.6年度		27年月	ŧ	28年度	
	-	a) 当初予算額		000								
	算 🖺	b) 予算現額	15,	000								
	状	c) 増減額(b-a) d) 前年度繰越額		0								
予算額・ 執行額	況 (C	u) 削		000	0							
【単位:千円】	R	執行済額		990	0							
(「交付金」+ 「市町村負担」	ļ	ち交付金充当額		992								
ベース)	次年度繰越額		,									
	執行	率 (%) (B/A)	99	9.9%								
	予算	の状況の説明	不用額10千円が発生 を鑑みて適正であっ			ていた事刻	業内容はす	べて実施し	た他、流	舌動目標、成	果目標の達成状	
								達成状	に況			
		H24活動目標	票(指標)		24年度	ŧ.	25年月	÷	26	6年度	27年度	
					24+13	Ž	204-)	Ž	20) 牛及	27年段	
	レンタ・	サイクル(電動自動	医車)実証実験の実	目標	(3箇所(各	10台))	()	()	()
		施		実 績	3箇所(各	10台)						
活動目標 (指標) 及び達成状況				目標	()	()	()	()
AC ZIN NO				実 績								
	達成状況説明	市内3箇所にお	いて45日間、レンタヤ	マサイクル(電動自転車各10台)の実証実験を実施した。								
		H24成果目標	票(指標)		基準値 (年度)	2	24年度	25年	度	26年度	目標値 年度	
	1.3. <i>5</i> 4	ᆂᄼᇬᇍᆌᄆᆇᄥ		目標	() (9	65名)	()	() ()
	レンダ・	ナイクル利用者数		実 績			660名					$\overline{}$
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】			目標	() ()	()	() ()
次い延渉状況				実 績								$\overline{}$
	進捗状況説明		く、レンタサイクル(電 『1日 (1人)×45日 (5 皇等を考慮									

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証		・観光サイン(誘導看板等)の整備及び車道や自転車道の管理で関係機関との連携が必要。また、ナビシステム活用に伴う通信環境整備が必要である。
	今後の間は	고 눈의

南城市における滞在型観光を振興する観点から、レンタサイクル(電気自転車)が市内観光等の周遊手段の一つとして確立されるよう、南城市観光協会において 今回の実証実験の結果を踏まえ、活用したい。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
14,990	14,990	11,992	2,998	0



資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
途の流	0	支出先の選定方法は妥当か。					
点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適止な規模となっているか。 	○請負事業者の選定はプロポーザル方式により選定して。 り、妥当であったと考えている。				
評費	_	受益者との自用関係に妥当であるか	〇事業実施に伴う予算、費目・使途等は妥当であったと考している。				
1	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名		南城市											
	平	成24年度	E沖縄振興特	別推	<mark>進交付</mark>	金事業(г	<mark>b町村</mark>	分)検	証シ	- ト	【公表月	Ħ]	
事業番号	1	-(1)	出	卫士期:	連展開調査	車 業		Sch AE	21世紀	L*25-11	第3	3章-3	-(2)-ア
・事業名		•	i+i r		生 及 闭 响 且 。	デ木			計画該		国際的な沖縄観光ブランドの確		
担当部課名	教育	部 文化課			事業実施 (予定)年度	平成24~25年	E 度		振興基 該当箇		立 Ⅲ-1-(1)		- (1)
事業内容	観光客等の誘客を促進するため、琉球王 連事業展開基本プランを確立する。 □直接実施 ■委託 □		求王国を	を興した尚巴	.志に関連する事	写業展開の	の可能性や	その戦	略につい	ての調査・	研究を行	うい、尚巴志関	
実施方法	<mark>去</mark> □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他())							
			24年月	Ę	25	5年度	26	年度		27年月	吏		28年度
		(a) 当初予算額		5,46	60								
	予算	(b) 予算現額		5,46	60								
	の	(c)增減額(b-a)		0								
予算額・	状況	(d)前年度繰越	<mark>額</mark> 一										
執行額 【単位:千円】		A. 計(b+d)		5,46	60								
(「交付金」+		B. 執行済額		5,46	60								
「市町村負担」	うち交付金充当額		<mark>i </mark>	4,36	88								
Α,	次年度繰越額				0								
	執行	了率(%)(B/A)	· ·	100.0	0%								
	予算の状況の説明当初計画していた事				美内容はす^	くて実施した他、	活動目標	票、成果目標	票の達瓦	找状況を 錫	益みて適正	であっ	たと考えている。
									達成	状況			
		H24活動	目標(指標)		Г	2455		0.F. Æ. Æ	-		o /= r=	$\overline{}$	07.左
						24年度		25年度	E	20	6年度		27年度
					目標	(可能性調査 <i>0</i> 実施) ()	() ()
	尚巴	志関連事業の展	開可能性調査の乳	実施 ─	実 績	可能性調査の実施							
活動目標 (指標) 及び達成状況					目標	() ()	() ()
					実 績								
	達成状況説明	平成25年度6 員会(1回)を)マスタープラン策 開催するなど調査						で構成す	るクロスフ	ファンクショ	シ会議	(2回)、検討委
		H24成果[目標(指標)			基準値 (年度)	24	年度	25	年度	26年	度	目標値 年度)
					目標 ()	(可能	性調) 実施)	()	()	()
	尚巴	志関連事業の展	開可能性調査の乳	実施 ─	実 績		可能性調	調査の実施					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	指標 】			目標()	()	()	()	()
					実 績								
	進捗状況説明	員会(1回)を)マスタープラン策 開催するなど調査						で構成す	るクロスフ	ファンクショ	シ会議	(2回)、検討委

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
の検証	マスタープラン策定に向けて、市民ワークショップや市役所職員で構成するクロスファンクション会議を開催し、これをうけ検討委員会で基本的な方針と行動計画について必要事項を審議・検討して、マスタープラン案を検討・承認する。 H25年度では予定している市民ワークショップやクロスファンクション会議及び検討委員会において、H24年度に引き続きこれらの意見を集約していく必要がある。	H25年度末のマスタープラン策定及び次年度以降の事業実施に向けて、今年度予定している市民ワークショップやクロスファンクション会議及び検討委

地元の英雄・尚巴志を人材育成や文化振興、まちづくり、観光振興等に活かしていくため、平成25年度に基本的な方針と行動計画を示した「尚巴志活用マス タープラン」を策定し、平成26年度以降に、マスタープランに基づく事業を実施する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
5,460	5,460	4,368	1,092	0



尚巴志活用マスタープラン策定にかかる委託業務

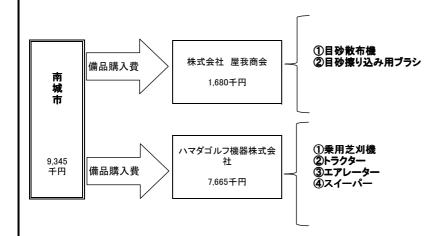
_	資 評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使途の流れ、	၈ ဝ	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組 ○					
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 〇貫目・使途については事業目的達成の観点から必要な物なのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。					
評価	費 —	受益者との負担関係は妥当であるか。						
,,,,,	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						

市町村名			南城市													
	平	成 2	4 年度	中縄振興	特別推	進交付	金事業(市町	村分)検	証シ	-	【公录	長用】		
事業番号	1	-(18)		7.7	ポーッハソー	-リズム推注	生車業			油組の	1 ## \$2	ビジョン		第3章-	-3-(2)ーア
・事業名					1)/\	= + *					当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの			ランドの
担当部課名	教育	部教	育総務課			事業実施 予定)年度	平成24年度	Ę			振興基 该当箇	本方針 所	アック	アック率 Ⅲ-1-(1))
事業内容	観 ^う る。	ర ం		健全育成	育成を図るため、南城市陸上競技場の天然芝		※芝の良質な状態を保持			するため	かの管理	里用機器	を導入す			
実施方法		直接	実施	□委託	口補	□補助 □負担 □その他(())						
				24年	度	2	5年度		26年度	<u> </u>		27年月	变		28年	F度
	3		初予算額		15,399	9										
	予算	(b) 予算	算現額		9,959	9										
	の状		減額(b-a)		▲ 5,440	D										
予算額・	況	. ,	年度繰越額	-												
執行額 【単位:千円】		A.	計 (b+d)		9,959	Ð										
(「交付金」+	ļ	B. 執1	行済額 		9,34	5 										
「市町村負担」 ベース)	うち交付金充当額			7,476												
	次年度繰越額				D											
	執行率(%)(B/A)				93.89	6										
	予算の状況の説明 ・当初予算に対し、 容はすべて実施し														十画してい	いた事業内
											達成	状況				
		1	H24活動目標	票(指標)		Г	0.4左中			or Æ #			0 左 库		07	左连
							24年度			25年度		2	6年度		21	年度
						目標(天然芝管理 機械の導 <i>入</i>	開)	()	()	()
		天然	然芝管理用	機械の導入			天然芝管理用機械の									
活動目標						-	導入 									
(指標) 及び達成状況						目標	()	()	()	()
						実 績										
	達成 状況 説説 明				した。											
		I	H24成果目标	票(指標)			基準値 (平成23年度	()	24年度		25	年度	2	6年度		目標値 (年度)
		-	***	燃揺の道3		目標(0台) (天	然芝管理 機械の導入	[†]) ()	(()
	天然芝管理用植			成倣の等八		実 績			芝管理 導入	用機						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】				目標() () ()	()	()	
久い足が认 が						実 績										
	進捗状況説明	つな	∜芝管理用様 よがった。	幾械(6台)を導	三人したこと	 とで、南城ī	——— 市陸上競技場(の天然芝	を良質	な状態	で管理	 !すること:	ができ、	 . サッカ	— <u>—</u> — <i>∓—⊥</i>	の誘致に

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①特殊な機械のため、素人では適切に機械を扱えない。 ②フィールド部分の透水性が乏しため、雨天後の芝管理、キャンプ時の練習に支障がでた。	①専門業者等から機械の扱い方、作業のタイミング等の技術提供を受ける。 ②暗渠排水工事を行う。
	A 46 114	

南城市陸上競技場の天然芝の良質な状態を保持するため専門的な技術を持つ業者と連携し、維持管理しながら芝生管理に精通した人材の育成を行う。 また、透水性の乏しい芝生フィールドの排水設備整備を行い、スポーツキャンプ受入れに適した施設整備を行う。

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
9,345	9,345	7,476	1,869	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流れ 点れ	0	支出先の選定方法は妥当か。	
点れ、	0		○購入先は指名競争入札で最低価格を提示した業者であ
検費価	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	り、妥当であったと考えている。
•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南城市												
	平成	2 4 年度	中縄振興特別	川推道	性交付 3	金事業(市町	村分)検	証シ	- ト l	【公表用】		
事業番号	2-(1	D	雇用サポー	トセン	ター就労支	援事業			沖縄	21世紀	ビジョン	第3章	-3-	(10)ーア
・事業名								基本計画該当箇所			雇用機会の創出・拡大と求職者 支援			
担当部課名	企画部	観光商工課			(業実施)定)年度	平成24年度				振興基 該当箇		Ⅲ-2		·2
事業内容	新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事務所等			∍務所等	に人材情報	を提信	共する 。							
実施方法	■直	接実施	□委託	口補助		負担	口その	の他	()				
			24年度		254	年度		26年度	ŧ		27年月	度		28年度
	₹	当初予算額		782										
	算	予算現額		745										
	状元	増減額(b-a) 前年度繰越額	_	▲ 37										
予算額 · 執行額	176		_	745		0								
【単位:千円】		A. 計(b+d) 執行済額		745 745		0								
(「交付金」+ 「市町村負担」	ı	秋11 府領 交付金充当額		596										
ベース)		F度繰越額		0										
	執行率 (%) (B/A)		-	00.0%										
	予算の)状況の説明	・不用額37千円が 鑑み,適正であった		ているが、	当初計画して	いた事	業内容	まはすへ	くて実施	した他、活	 舌動目標、成	果目村	票の達成状況を
									達成	状況				
		H24活動目標	票(指標)			24年度			25年度 2			6年度		27年度
	〒田創山	出サポートセンタ	7	E	 標 (100人)	()	()	()
	准用刷口	ロッホードセンタ	·一豆 球百数	実	注 績	250人								
活動目標 (指標) 及び達成状況				E	標 ()	()	()	()
				実	ミ 績									
	達成状況説明	雇用創出サポー	-トセンター登録数	が、目材	票の100人?	を上回り、250)人の登	録を達	成した	0				
		H24成果目標	票(指標)			基準値 (23年度)		24年度	芰	25	年度	26年度		目標値 (年度)
	雇用創出	出サポートセンタ	7一登録数	E	標 (100人) (100人)	()	() ()
				実	注			250人						
成果目標(指標)	【参考指	標】		E	標 () ()	()	() ()
及び進捗状況				美	注									
	進捗状況説明	雇用創出サポー	-トセンター登録数	が、目れ	票の100人?	を上回り、250)人の登	録を達	成した	•				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	り市民の雇用機会の創出を推進し、市民の就労支援と事業所の人材不足を	サポートセンター登録数は目標人数を上回っており市民のニーズは高まりつつあるが、、本事業の認知度がまだ高くないため、市民、市内事業所等への周知が必要である。今後も、地域における雇用促進及び生産農家や事業所と未就業者のミスマッチ等を解消することで、、市内の雇用機会創出を目指す。

雇用状況の改善に向けて、関係機関との連携しながら、再就職の相談に適切なアドバイス、情報提供等を継続して実施する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
745	745	596	149	0

南城市 745千円

賃金 745千円

南城市雇用サポート センター臨時職員 745千円

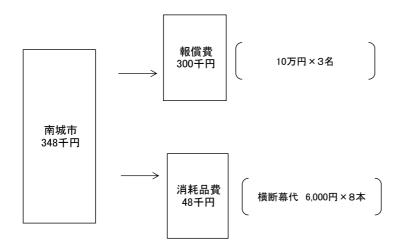
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
使金の流	0	支出先の選定方法は妥当か。			
途の流れ、検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	- ○就労支援に必要な人件費(勤務時間:1日当たり5.5時間) であり適正である。		
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。			
-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	南城市										
	平成24年度	中縄振興特別	性進交付金	金事業(市町村	分)核	証シ	- ト I	公表用)	l ,	
事業番号・事業名	3-①	平和発信	言プロジェクト事	業			21世紀		アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交		
担当部課名	企画部 まちづくり推進課 事業実 (予定)年					沖縄	振興基該当箇		の展開 Ⅲ −12		
事業内容	戦後67年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れ 和の日(8月10日)にコンサート、写真展を実			て市民1人ひと	≟りが平和	や命の大り			≟して、南城市	- 5独自で制定し	した平
実施方法	■直接実施	□委託 □	補助 []負担	□その⁴	他()				
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	(a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A) 予算の状況の説明		048 0 0 848 0 848 848 0 0	0		·		27年月		28年度	
	H24活動目標	票(指標)	24年度			25年月	達成		6年度	27年度	
	平和の日の制定(8月10	0日)	目標(平和の日の平和の日の)	()	()
活動目標 (指標) 及び達成状況	心ぽっかぽかコンサート	・の開催 -	目標(10) ()	()	()
	達成状況説前・一大学の表現である。	受定した平和の日(8月	実 績		おいて「音	音楽と写真	でつなか	る心ぽっ	かぽかコンち	ートを開催し	<i>t</i> =。
				基準値 (年度)	24	I年度	25:	年度	26年度	目標 (年	度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	心ぽっかぽかコンサ	ナート入場者数	目標 ()		00名)	()	() ()
		-	目標(;	()	()	() ()
	進捗状況説明	場者数は、目標の400	実績 人名を達成した。								

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証		多くの人が平和について考えることができたため特に改善すべきところはあり ません。
	会体の間は	12 士弘

市民が平和や命の大切さを考える機会となるようコンサートを継続して開催したい。

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
348	348	278	70	0



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使金金の	0	支出先の選定方法は妥当か。	── ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。			
の流 点れ 検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
評費価目	_	一番女子と小有用関係は女子であるか				
• IMI (2)	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	1 No 0 - N WERRY SEE - 603 5 1 - 60			

市町村名		南城市										
	平成	t 2 4 年度	<mark>中縄振興特別</mark>	推進交付	寸金事業(市町村名	分)検	証シ	-	【公表用]	
事業番号										第3章	章-4-	- (2) ーウ
・事業名	3-0	2)	戦没者	省追悼慰霊务	等業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交		
担当部課名			소垣沖運	事業実施	6 ∓ 5 €	24年度	2ds 400 -	恒御 甘・		の展開		
但当即酥石		田江山 江:	女佣仙林	(予定)年	度 ^{一次}	24千皮		振興基 該当箇			Ⅲ—	12
事業内容			するため、本市では ため、慰霊碑を1箇							る遺族の高値	齢化やり	月日の経過とと
実施方法		直接実施	■委託 □	補助	□負担	□その他	()					
			24年度		25年度	26年	度		27年月		- :	28年度
	<u>`</u>	a)当初予算額		633								
	算) 予算現額		633								
	状	。)増減額(b-a)	_	0								
予算額・ 執行額	況 (C	d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)	_	633	0							
【単位:千円】	R	執行済額		630	0							
(「交付金」+ 「市町村負担」	,	 ち交付金充当額		480								
ベース)		年度繰越額		0								
		率 (%) (B/A)	9	9.5%								
	予算	の状況の説明	不用額が3千円発生 みて適正であったと			いた事業内容	はすべて	 実施し <i>†</i>	こ他、活動	───── ─ 助目標、成果)達成状況を鑑
								達成	犬況			
	H24活動目標(指標)		票(指標)		24年度		25年度	Ę	2	 6年度	Т	27年度
	慰霊碑の整理・統合(3箇所→1箇所)			目標	(1箇所	-) ()	()) ()
				実 績	1箇所							
活動目標 (指標) 及び達成状況	大規模慰霊祭の開催			目標	大規模慰 の開催	霊祭)()	()) ()
				実 績	大規模慰霊祭	の開催						
	達成状況説明	成 状 治 市内3箇所に点在する慰霊碑を1位 説										
		H24成果目標	票(指標)		基準値 (23年度)	24年	度	254	年度	26年度	ŧ	目標値 (年度)
	慰霊碑の整理・統合(3箇所→1箇所)		目標	(3箇所		所) (()	() ()	
				実 績		1 箇	i所					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	大規模	慰霊祭の開催		目標	(-) (大規模類 祭の開催		()	() ()
				実 績		大規模慰開						
	進捗状況説明		在する慰霊碑を1箇 村単位で開催してい			て開催するこ	とができた	:				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
これまで旧町村単位で実施していた慰霊祭を、合同での一箇所開催として実施することで市の一体感を高めることができた。それにより高齢化している遺族連合会の負担も軽減され、現状での課題は特にない。	
A44 A THU 40	1 7.

遺族の高齢化を踏まえ、遺族連合会と連携を図りながら慰霊祭を引き続き開催したい。

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
630	630	480	150	0



使途の点検評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
	0	支出先の選定方法は妥当か。	〇支出先の選定については、130万円以内の工事請負であ		
	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	るため、南城市契約規則第33条に基づく随意契約を行っ おり、妥当である。 〇費目・使途については支出等に関する書類により確認。 正であった。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	正であった。		

市町村名		Ī	南城市										
	平成24年度沖縄振興特別推				推進交付	<mark>交付金事業(市町村分</mark>			〉検証シート		【公表用】		
事業番号 •事業名	4-① さとうきび			さとうきび個	· 憂良種苗安定確保事業			沖組	沖縄21世紀ビジョン		第3章-3-(7)-ア		
* ****			<u> </u>		亭業実施 (予定) 年度		基	本計画該	当箇所	おきなわブランドの確立と生産供 給体制の整備			
担当部課名	産業	建設部	産業振興	課			沖	縄振興基 該当箇		Ⅲ-1-(6)			
事業内容	沖縄県の其幹作物であるさとうきびについてけ、巫成6年度からの品質取引制度の道えに伴い多収性品種から享頼性品							種 <i>への</i>)転換が推進さ				
実施方法		直接実	ミ施	■委託 □	補助	口負担	□その	の他()				
				24年度		25年度		26年度		27年月			<mark>28年度</mark>
	(a) 当初予算額 予 (b) 予算現額				,750								
	算の		表現(b-a)	3	0								
又体结	状況	· · · - · · ·	F度繰越額	_									
予算額· 執行額	沈		† (b+d)	3	,750	0							
【単位:千円】		B. 執行	済額	3	,750								
(「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		うち交付	金充当額	3	,000								
~ ~,	;	次年度紀	桑越額		0								
	執行	亍率(%	6) (B/A)	10	0.0%								
	予算の状況の説明			T									
	H24活動目標(指標)							達成状況					
			12-7/11-3/) III 17	下(1口)环/		24年度		25年	度	2	6年度		27年度
	採苗圃設置面積 現状250アール→目標300アール			目標	(300a)	()	()	()	
江梨口 標				実績	250a								
活動目標 (指標) 及び達成状況					目標	()	()	()	()
				実 績									
	達成							の希望に対応 品種の設定を					
		Н	24成果目標	票(指標)		基準値 (23年度)		24年度	25	年度	26年度		目標値 (28年度)
	さとうきび優良種苗植付面積(アール)			目標	(2,204a) (1,780a)	()	() (2,040a)	
				実 績			1,448a						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】			目標	() ()	()	() ()	
及び延抄认述					実績								
	進捗状況説明	配布続き	する夏植用	台風の連続襲来に。 種苗は台風の影響 ってしまったが、優良	を受けていな	いため、予定道	負り500ア・	ール分配布	できるよう	う管理して	もらう。平成	24年月	度も前年に引き

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

①自然災害により苗の状態が悪い ②原苗圃の品種・面積等の希望が通らず(自然災害による苗不足等)、計画 通りに種苗を普及することが難しい。

通りに性田を音及りることが難しい。 ③種苗配布期間・場所等を農家負担が少なくなるように調整しているが、高 齢の農家も多く、負担をかけることがある。また、配布時期が集中すると生産 法人への植付委託が一時に集中する。 ④種苗配布は1~2週間期間を設けて農家が適期に植え付けできるようにし മ

ているが、その間ずっと圃場を管理できないため、後から来る農家の苗がな くなってしまう。

⑤委託農家によって圃場管理に差がある。

検

⑥農家希望に対しての割当率が50%程度を目指す。(割当率が低いと農家 のやる気をなくしてしまい、高すぎると補助なしでは自立できなくなる。)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

①台風に備えての高培土や台風後のかん水、土寄せ等による被害軽減 ②県への要望 ③受取希望日欄の追加等。

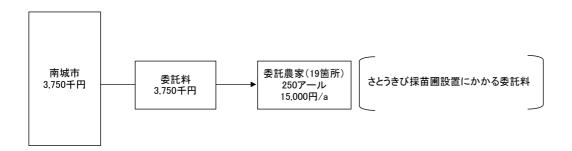
③ 文 取 布 呈 口 欄 の 追加 寺。 ④ 苗 圃 拡 大 に よ り 苗 の 争奪を 軽減する。 ⑤ 圃 場 且 の り。 委 託 仕 株 書 改 善。 ⑥ 苗 圃 拡 大 。 品 程 構 成 を 検 計 し、農 家 需要 に 合わせ て 苗 圃 を 設置 する。 また 南城市が奨励していく品種も示していく。

今後の取り組み方針

平成25年度より委託面積を50アール拡大することにより、農家要望に近づけ、余裕をもって配布することを目指す。また、圃場管理の委託仕様書や検査チェック 表等を作成し、苗質の向上と均一化を図る。

資金の流れ

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費		
3,750	3,000	3,000	750	0		



<u></u>	_	平価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使途の点検評価・	<u>၈</u> (0	支出先の選定方法は妥当か。	○委託農家は、南城市さとうきび生産組合の組合長より候補を挙			
	n C	0	ア昇規模は事業内谷に見合つに <u></u> 歯止は規模となつしいるか。	げてもらい、その中から経営規模・生産実績・知識を勘案した上で 選定しており、妥当であったと考える。			
	費 -	-		〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなの か等について委託仕様書との照合及び生育調査の結果、適正で			
	•	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	あった。			

市町村名		F	南城市														
	平	成2	4 年度	中縄振興	特別技	性進交付	金事業	(市町	村分)検	正シ	-	【公表	長用]			
事業番号	4	-(2)			典 業 生 i	牵体制強化	車 業			油縄の	1 ## \$2	ビジョン		第3章-	-3-	(7)ーカ	
・事業名		2			及木工	王体的)五亿	デ 木					当箇所				適合した剧	農林
担当部課名	産業	建設部	田園整備	課		事業実施 (予定)年原				沖縄振興基本方針 該当箇所			水産業の基盤整備 Ⅲ-1-(6)				
事業内容	作物にアス	農業生産物の生産体制の強化を図るうえ 作物の粉塵による生育不良や日照量低™ にアスファルト舗装を実施する。 □直接実施 ■委託 □									生産物	の荷崩ネ	を防」	上する為	、既該	との簡易農	!道
実施方法		直接実	€施 ————	■委託	口衫	甫助	□負担	□そ	の他	()							
				243	年度		25年度		26年度	甚		27年月	雙		2	8年度	
	~	1 7 11]予算額		20,0												
	予算	(b) 予算	現額		20,0	00											
	の 状		t額(b-a)			0											
予算額・	況	(d) 前年	E度繰越額	_	-												
執行額 【単位:千円】		A. 言	† (b+d)		20,0	00	0										
(「交付金」+	ļ <u></u> .	B. 執行	済額		20,0	00											
「市町村負担」		うち交付	金充当額		16,0	00											
	,	次年度総	嬠越額			0											
	執行	亍率(%	6) (B/A)		100.	0%											
	予:	算の状況	兄の説明	100%執行で	ごある 。												
	H24活動目標(指標)										達成	伏況					
							24年月			25年度		2	6年度			 27年度	
						目標	(L=120 (L=120	0m \	()		- 1 · ~)	()
			農道舗	装		実 績	L=119 (L=119	3m									
活動目標 (指標) 及び達成状況						目標	()	()	()	()
						実 績											
	達成状況 ほぼ目標どおり農道舗装を実施した																
		Н	24成果目標	票(指標)			基準値 (23年度)		24年度	Ė.	25:	年度	2	26年度		目標値 年度)	
			農道舗	i 生		目標	(0m) (1200m) ()	()	()
			及延加	140		実 績			1193n	n						/	
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	指標 】				目標	() () ()	()	()
次い足形状形						実 績											
	進捗状況説明	期待	道舗装を実 される。	施したことに、	より、大雨	雨時の冠水 液	坡害、粉塵被害	言が軽減る	され、出	出荷時の	荷崩れ	による農	作物の	り傷み等	が減	少すること	が

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
使		アスファルト舗設後、農道沿いの受益者の意識も変わり雑草の管理、排水路の清掃等も行うようになった。今後、大雨時の冠水被害が無くなることが期待できる。また、農産物の荷崩れによる傷みが無くなることから、生産性の向上につながり、農家の増収益も期待できる。
	A 44 a Ta 11 41	7 7

土地改良事業で造成された農道について、平成25年度から農業基盤整備促進事業により農道整備が可能になったことから、今後は、代替事業による整備で実 施して行きたい。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
20,000	20,000	16,000	4,000	0

南城市 20,000千円

工事請負費 有限会社 南城土木 20,000千円

農業生産体制強化・農道等舗装工事 🗋

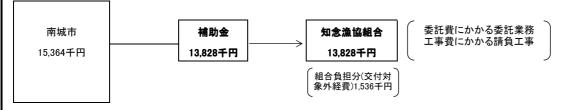
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。				
点れ検	0		○指名競争入札により業者を選定しており妥当である。 ○費目・使途については設計図書に基づき、事業目的達成			
評費価目	_		の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。			
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		Ē	有城市												
	平	成 2 -	4 年度	中縄振興特別	推進	整交付 :	金事業(市町	村分)検討	正シ	- -	【公表用		
事業番号	4	-(5)		漁港巻上	機∙施言	沿機能 強	化事業			沖縄2 ⁻	1 ## \$21	ر د در در در	第3	章-3	ー(7)ーカ
・事業名		•		/M/8 8 ±	100 NED	Z [20] X				基本計			亜熱帯・島し の基盤整備	よ性にi	適合した農林水産業
担当部課名	産業	建設部	産業振興	課		業実施 定)年度	平成24年度		_	沖縄振	製基 製造 製造		Ⅲ-1-(6)		- (6)
事業内容	水産	業の振り	興を促進す	るため、巻上機施設	め機能	诈強化 事	業を実施する	0							
実施方法		直接実	E施		補助		□負担	□そ(
			M- 4-T	24年度		25	年度		26年度	Ę		27年	支		28年度
	予		7月第		3,828										
	算の	(b) 予算	L現額 【額(b−a)	13	3,828										
	状		E度繰越額	_	0										
予算額・ 執行額	況		- 及 深		3,828		0								
【単位:千円】		B. 執行			3,828		0								
(「交付金」+ 「市町村負担」	·		金充当額		1.062										
ベース)		次年度総			0										
	_		6) (B/A)	10	00.0%										
	予算の状況の説明														
											達成	伏況			
	H24活動目標(指標)					Γ	24年度			25年度		2	6年度		27年度
	巻上機施設設置件数(志喜屋漁港、久高漁 港)					標(2件)	()	() ()
活動目標(指					実	績	2件								
信割日保(指標)及び達成状 況					目	標()	()	() ()
					実	績									
	達成状況 説明					ひの設置(こついて補助	した。							
		Н	24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年度	ŧ	25:	年度	26年月	度	目標値 (年度)
	_	吉昆. /2	,古上下加	可能漁船の台数	目	標 () (11隻) ()	()	()
	10	苦圧で	(同工) 木	り 化水ルツロ 致	実	績			11隻						
成果目標(指標)及び進捗状 況	【参考指標】					標 () () ()	()	()
					実	績									
	進捗状況説明		機施設を設	世間し台風襲来時に	おける	大型船の	陸揚げ及びネ	捕修等が	可能に	こなった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	志喜屋漁港、久高漁港に巻き上げ機を設置し、台風襲来時における大型 船の陸揚げ及び補修等が可能となり、水産業振興を促進する環境を整備す ることができた。	当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標を達成し、事業を計画どおり終了することができた。
	A 40 - = 114	A1

今後は、漁協において、巻き上げ機施設の運用及び適正管理を行う。

!!.		交付対象	± ^		交付対象
総事業	費	事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	外経費
15,3	64	13,828	11,062	2,766	1,536



資		点 検 項 目	評価に関する説明
使金の流の流		支出先の選定方法は妥当か。	
点検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	漁協負担分を除く総事業費の9割について、市から知念漁協に補助金を交付した。また、漁協から業者への委託料及
評費	i o		が工事請負費についても適正に支出されている。
•		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南	城市												
	平	成24	l 年度》	中縄振興特別	推進	整交付	金事業(市町	村分)検	証シ	- 1- 1	公表用		
事業番号	5	-(1)		地域	防災対	策強化事:	業			沖縄	21世紀	ビジョン	第3章	-2	-(4)-イ
・事業名							-1·				計画該		災害に強い 制の強化	県土	づくりと防災体
担当部課名	総務	部 総務	課			業実施 定)年度	平成24~2	8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ-10-(2)		
事業内容				ーダーの育成を図 防災資機材の整備			そによる防災	活動を写	€施する	る。ま <i>た</i>	:、地域(;	こよって異	なる災害をな	想定し	<i>†</i> -避難訓練、
実施方法		直接実	施	□委託	■補助		〕負担	ロそ	の他	()				
	_			24年度		254	年度		26年度	Ę		27年月	支		28年度
	- Z	(a) 当初			750										
	予算	(b) 予算			750										
	の状	(c) 増減			0										
予算額・	況		度繰越額	_											
執行額 【単位:千円】			(b+d)		750		0								
(「交付金」+	·	B. 執行			57										
「市町村負担」 ベース)		うち交付会			45										
	次年度繰越額			0											
	執行率(%)(B/A)			7.6%											
	予算の状況の説明 防災組織結成に向りても意識の高い自治												がされなかっ	た。阝	方災訓練につい
	U24年前日堙(指揮)									達成	伏況				
	H24活動目標(指標)						24年度			25年月	支	26	6年度		27年度
					В	標 (1団体	:)	()	()	()
	1団(催	本で、組織	は結成に向	けた防災訓練の開		IX.	. 12111	,							
	TE.				実	績	2団体								
活動目標 (指標) 及び達成状況					目	標 ()	()	()	()
及ひ達成状況					=	:績									
						. ng									
	達成 状況 説 明				実施さ	<i>れた</i> 。									
		H2	4成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年度	Z#C	25:	年度	26年度		目標値 (年度)
	1 団 (本で、組織	数結成に向	けた防災訓練の開		標 () (1団体)	()	()	()
	催					: 績			2団体	Z					
成果目標	【参考	背指標 】			目	標() ()	()	()	()
(指標) 及び進捗状況						: 績		+							
	·μ														
	進捗状況説明	目標を	上回る2	団体で防災訓練が	実施さ	れた。									

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	防災組織結成に向けての取り組み説明の充実。 防災訓練の積極的な開催への説明、連携。	防災組織結成や防災訓練へ向けての趣旨や主体等具体的な取り組み説明 を盛り込み各自治会に対し積極的にかかわりをもって地道な連携体制が必 要である。

区長会などを通じて防災組織の勉強会、研修会(講演会)を開き、結成組織の重要性をアピールする取り組みを積極的に行う。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
57	57	45	12	0

南城市 57千円

防災組織結成自治会・防災訓練実施自治会へ補助金交付 57千円

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使金の	0	支出先の選定方法は妥当か。				
使途の点検	0		〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について実績報告書等により確認、適正であっ			
評費価目	_		た。			
1.	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		南城市												
	平	成24年度	中縄振興特別	別推進	整交付	金事業(市	方町 木	寸分:	検	証シ	- -	公表用]	
事業番号	5	-(2)	災害に	強いまち	づくり推進	事業			沖縄2	1世紀	ゴミショ シ	第3章	ī−2·	-(4)-イ
・事業名						· · · · · · · · · · · · · · · · ·				計画該		災害に強い県土づくりと防災体 制の強化		
担当部課名	総務	部 総務課			津実施 定)年度 平成24年度			-	沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ-10-(2)		
事業内容	安川	心・安全の確保及び	「災害に強いまちて	ぶくりの実	ミ現を図る	ため、また被災	後者の長	長期避	難生活	を想定し	ンた非常 身	用食料品等(の整備	を実施する。
実施方法]直接実施	■委託	口補助]負担	口その	D他 (()					
			24年度		254	年度	2	26年度			27年月			28年度
	7	(a) 当初予算額		1,505										
	予算	(b) 予算現額		1,505										
	の	(c) 増減額(b-a)		0										
予算額・	状況	(d) 前年度繰越額	_											
執行額		A. 計 (b+d)		1,505		0								
【単位:千円】		B. 執行済額		1,505										
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付金充当額			1,204										
ベース)	次年度繰越額			0										
	執行	行率(%)(B/A)		100.0%										
	予算の状況の説明当初計画して		当初計画していた	事業内	容はすべ ⁻	て実施した他、	活動目	標、成	果目棋	栗の達成	大沢を鑑	されて適正で	あった	と考えている。
										達成				
		H24活動目材	票(指標)		24年度				25年度		26	 6年度		27年度
				目	標 (200か所)	()	()	()
		海抜表示板	の設置	実	績	200か所								
活動目標(指標)					標(()	()	()
及び達成状況		備蓄食料	の整備								`		<u>l</u> `	
				実	績	660食								
	達成 状況 治技表示板(海岸線沿い)及び備書 説明			蓄食糧に	こついて、		まするこ	ことがで	きた。					
		H24成果目	票(指標)			基準値 (年度)	2	24年度		25:	年度	26年度		目標値 (年度)
		海抜表示板の設	署(200第所)	目	標 ()	(20	00か所	.))	()	()
		/再放 1次 小 1	直(200回刊)	実	績		2	00か月	fi					
成果目標 (指標)	備蓄食料の整備(660食)			目	標()	(6	660食))	()	()
及び進捗状況				実	績			660食						
	進 排 状 治 海抜表示板(海岸線沿い)及び備蓄			_ 蓄食糧に	こついて、	目標どおり整備	するこ	ことがで	きた。					

l		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)						
		市内の海岸線沿いに海抜表示の設置を行ったが市内内陸部においても設 置について検討事項が発生した。	海抜表示設置については、市内の海岸線沿いのみならず、内陸部にも設置 し、全市民、観光客等に周知することが最終目標として事業に取り組む。						
	今後の取り組み方針								
ı									

市内全域に海抜表示設置及びまた、防災計画に基づく食糧備蓄について継続して取り組む。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
1,505	1,505	1,204	301	0

海抜表示

南城市 1,186千円

委託料1,186千円

沖電企業株式会社

備蓄食糧

南城市 319千円

委託料319千円

マチダテクノ株式会社

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。					
がれた検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	海抜表示については入札をし、完了報告のもと適正に支出				
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	た。備蓄食糧の関しても納品確認後適正に支出した。				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名		Ī	南城市												
	平	成 2	4 年度》	中縄振興特別	推進	交付金	金事業(市町	村分)検	証シ	- - -	【公表月	Ħ]	
事業番号	5	- (3)		台風・大	雨浸水被	害対策	事業			油縄2	1世紀	ビジョン	第	3章-2	ー(4)ーイ
・事業名			 				1			基本計画該当箇所			災害に強い県土づくりと防災体 制の強化		
担当部課名	産業	建設部	都市建設	課		実施()年度				沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ-10-(2))-(2)
事業内容	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地		也域の排フ	水路にお	らける雨水の	流入•流	出ルー	トを調:	査し、適	1切な排水	、路整備を	計画す	ె ం		
実施方法		直接実	ミ施	■委託	口補助]負担	ロそ	の他	())				
				24年度		25:	年度		26年度	Ę		27年月	支		28年度
	予	. ,	7予算額		8,375										
	算	(b) 予算		1	8,375										
	の状		t額(b-a)		0										
予算額・ 執行額	況		F度繰越額		0.075		0								
【単位:千円】		B. 執行	計 (b+d)		8,375		0								
(「交付金」+ 「市町村負担」	,		「疳积 ·金充当額		8,375 4,700										
ベース)		次年度組		'	0										
			6) (B/A)		00.0%										
	予算の状況の説明														
			o 4 또라 ㅁ 년	= / +ヒ+= \							達成	状況			
		п	24活動目標	表(扫 <i>惊)</i>				E 度		25年度 2		2	6年度		27年度
	佐敷地区雨水流域調査			目;	,	佐敷地区		()	() ()	
活動目標					-	124	1232-51-1	,, <u>,</u>							
(指標) 及び達成状況					目	標 ()	()	() ()
					実;	績									
	達成状・佐敷地区内における雨水の流入・ 況 立てることが出来た。 明			・流出ルー	-トの調	査結果により	、浸水补	披害の原	原因究	明により	り、適切な	排水路の	整備方質	針∙整備計画を	
		Н	24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年度	ŧ	25	年度	26年	度	目標値 (年度)
	佐動	地区雨7	水流域調査		目;	標 (:) (性	生敷地區 調査	区)	()	()	()
	12.30	20 E-1432.	1,016-20 EN E		実	績		佐	敷地区	調査					
成果目標 (指標)	【参表	背指標 】			目:	標 () ()	()	()	()
及び進捗状況					実;	績									
	進捗状況説明	・佐勇立て	牧地区内にる ることが出₹	おける雨水の流入 来た。	・流出ルー	トの調	査結果により	、浸水衫	披害の原	原因究	明により	り、適切な	排水路の	整備方質	針•整備計画を

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・雨水ルートの調査による、浸水被害の究明ができた。	・調査結果に基づいた、排水整備計画の立案。
	A 46 114	

・平成24年度において、佐敷地域内の雨水流域調査を終え25年度は、西部地区の調査、そして最終年度の26年度におい東部地区の調査を行う。市内全域の流 域調査の完了後において、整備検討委員会を開催し、排水整備の基本・実施計画を立案し、改修整備を随時行っていく。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象		
	事業費	充当額	負担金	外経費		
18,375	18,375	14,700	3,675	0		



資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
伊金の	0	支出先の選定方法は妥当か。				
使途の点検評価	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・ ・委託業者は指名競争入札により適正に契約されている。			
評費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	*安託来有は拍右規ず入札により週正に突利されている。			
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名		南城市											
	平	成24年度	中縄振興特別	推進交付	金事業(市町村	寸分)検	証シ	- -	公表用			
事業番号	5	-4)	人にやさしい	なんじょう情報	マップ事業		沖縄2	21世紀	ごジョン	第3章	-2-(4	4) ーイ	
・事業名								計画該		災害に強い 制の強化	県土づく	りと防災体	
担当部課名	総務	部 総務課		(予定)年度 平成24年度				沖縄振興基本方針 該当箇所			Ⅲ-10-(2)		
事業内容			住民や観光客への多	そ心安全を確保	まするため、なん	んじょう情	報マップを作	∈成する。	0				
実施方法		直接実施	■委託□□		□負担	□その							
		() W to 77 Mr. dT	24年度		5年度	2	26年度		27年月		284	年度	
	予	(a) 当初予算額		,000									
	算	(b) 予算現額	10	,000									
	の状	(c) 増減額(b-a)		0									
予算額 · 執行額	況	(d) 前年度繰越額	_										
【単位:千円】 (「交付金」+		A. 計(b+d)		,000	0								
	<u>,</u> .	B. 執行済額		,996									
「市町村負担」 ペース)		うち交付金充当額	/	,996									
	_	次年度繰越額 	10	0.0%									
	執行率(%)(B/A) 1			0.0%									
	予:	算の状況の説明	不用額が4千円発生 鑑みて適正であった	Eしているが、 :と考えている	当初計画してし 。	た事業に	内容はすべて	実施した	た他、活動	動目標、成果	目標の遺	権成状況を	
								達成物	大況.				
		H24活動目標	票(指標)	Г									
				24年度		25年度	Ę	26	6年度	2	7年度		
		マップの作成17000		目標	情報マップ17, (校区マップ5,4 データの活	00枚)	()	()	()	
		校区毎マップ作成5 なびGISでのデータ		実 績	情報マップ17,000冊 校区マップ5,400枚								
活動目標 (指標)				目標	データの活用		()	()	()	
及び達成状況						ŕ	<u> </u>	Í			`		
				実績									
	達成状況説明 活動目標(指標)を達成すること			ができた。									
		H24成果目标	票(指標)		基準値 (年度)	2	24年度	254	丰度	26年度		目標値 (年度)	
	中学	マップの作成17000 校区毎マップ作成5	5,400枚	目標	()	校区 ⁻ デ-	アップ17,000冊 マップ5,400枚 ータの活用	()	() ()	
	市HP及びGISでのデータの活用			実 績		校区	7ップ17,000冊 マップ5,400枚 ータの活用						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】			目標	()	() (()	() ()	
				実 績									
	進捗状況説明		票)を達成することだ	ができた。		•							

		推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	検	情報マップ作成に至っては、市内各土砂災害危険箇所等についても地図に 表示することにより周知することができている。また各小中学校においても地 域情報の聴取を行いマップに危険箇所を載せることにより防災教育にも役立 てる目的が達成されている。	
п			

市内各世帯及び市内小中学校全生徒に対し情報マップ及び校区毎の安全マップを配布する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
9,996	9,996	7,996	2,000	0

なんじょう情報マップ

南城市 9,996千円

委託料9,996千円

生活地図株式会社

資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
途の	0	支出先の選定方法は妥当か。			
の点れ、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	プロポーザル方式を実施し、事業完了報告のもと適正に支 出した。		
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。			
Im C	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	南城市										
	平成24年度	沖縄振興特別推	進交付金	金事業(計	可村分)検討	Eシ-	- - [公表用】		
事業番号 ・事業名	6-④	鶏糞バイオマス	ス発電導入調	查事業				ゴジョン	第3章	:-1-(3))ーイ
			事業実施	T-1045-			十画該		クリーンエネ	ルギーの	推進
担当部課名	企画部 政策調整課	•	(予定)年度	平成24年度			長興基ス 女当箇月		Ш	-10-(1)
事業内容	環境に優しい南城市のまる。南城市および周辺に る。南城市および周辺に 設備規模を検討し、併せ	こ於ける鶏糞等のバイオ	マスの種類と	:賦存量の調査							
実施方法	□直接実施	■委託 □補	助□]負担	□その他	()					
	(a) 当初予算額	24年度 6,30		年度	26年	度		27年月	度	28年	度
	予 (h) 予質現類	6,30									
	算 の (c) 増減額(b-a)	-	0								
予算額・	状 (d)前年度繰越額										
執行額 【単位:千円】	A. 計(b+d)	6,30	0	0							
(「交付金」+	B. 執行済額	6,10	9								
「市町村負担」	うち交付金充当額	4,88	6								
	次年度繰越額		0								
	執行率(%)(B/A)	97.0	%								
	予算の状況の説明	・不用額191千円は、外 当初計画していた事業				である。					
	H24活動目	煙(指煙)	_				達成4	犬況			
	1127/1230 [11]	亦(1日1亦 <i>)</i>		24年度		25年度		26	6年度	27	年度
			目標 (調査の実施	i) ()	()	()
	鶏糞バイオマス発電等語	調査の実施 ―	実 績	調査の実施	į						
活動目標 (指標) 及び達成状況			目標() ()	()	()
			実 績								
	達成 状 南城市および馬 況 の検討を実施で ることができた。 明	引辺に於ける鶏糞等のバ できた。その調査結果を足	イオマスの程 沓まえた最適 	種類と賦存量の な発電方法や多	調査を実施 そ電設備規	し、バイオ 塻を検討し	·マス発 _{ン、} 併せ	電の事業・ で冬季に	賃性評価や事 □おける発電ほ	業の継続情 時の余熱和	性・持続性 川用を考え
	H24成果目标	漂(指標)		基準値 (年度)	24年	度	254	年度	26年度		目標値 年度)
	鶏糞バイオマス発電等調	調査の実施	目 標 ()	(調査の 施	実) ()	() ()
成果目標			実績		調査の	実施					
は指標) 及び進捗状況	【参考指標】		目標()	() ()	() ()
			実績								
	状 発電設備規模を	引辺に於ける鶏糞等のパ を検討し、併せて冬季に 業性評価や、事業の持続 できた。	おける発電時	の余熱利用を	考えられた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取組の検

賦存量調査は、数件の畜産農家へのヒアリング内容を基に算出した推計値であり、発電事業の実施を判断するデータとして不十分である。また、発電事業を開始するには、環境対策や建設用地の選定、住民説明会の開催等の課題がある。

実現可能性を把握するため、畜産農家を対象にヒアリング及びアンケート調査を実施する必要がある。また、原料となる糞尿の利用可能量をより正確に把握し、将来推計を立てることにより、現実に即した発電規模や発電方式を決定することができる。また、円滑な事業導入のためには、環境対策や建設用地の選定、周辺住民への説明会の開催等についても取り組む必要がある。

今後の取り組み方針

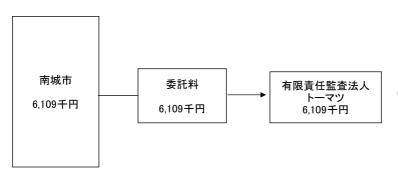
今回調査した本市および周辺市町のデータを県に提供し、県で積極的に広域で取り組んで頂くよう要請した。県の動向を踏まえ、今後の取り組み方針を決定したい。

本市で実施する場合には、民間発電事業者を選定し、既存の補助メニューを活用した発電事業に取り組んでもらう。その事業化のため、建設用地の選定や住民説明会の開催について民間事業者と連携して取り組む。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
6,109	6,109	4,886	1,223	0



(鶏糞バイオマス発電等実証実験事業に係る業務委託)

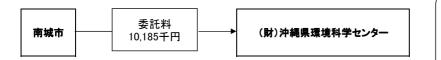
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
使金	0	支出先の選定方法は妥当か。	
の流点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、提案内容、 企業組織、実績等を勘案したうえで選定しており、妥当であっ
検、評費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	── たと考えている。 ── ○業務実施計画書に基づく必要経費について支出しており、
価目・	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	一妥当であったと考えている。

市町村名		Ī	南城市													
	平	成 2	4 年度》	中縄振興特別	推進	交付金	金事業(市町	村分)	検証	シー	- -	公表用	1		
事業番号 ・事業名	6	-6		畜	産悪臭 対	策事業				沖縄21†			第3章	t-1-	-(1)-イ	
	- 	7 + = D + D	**************************************	= m	事業	実施	T-1045			基本計画			陸域•水辺3	環境♂	保全	
担当部課名	産業:	建設部	産業振興)年度	平成24年度			沖縄振り	基本 当箇所		П	[— 10	- (1)	
事業内容				のまちづくりを推進 分現況調査・分析等					《質改変	装置を設	置し、	臭気濃	度と臭気指数	対及び	畜産業に関	連
実施方法		直接実	ミ施	■委託 []補助]負担	ロその	の他()						
				24年度		25:	年度		26年度			27年月	复		28年度	
	又		D予算額		0,185											
	予算	(b) 予算		10	0,185											
	の 状		梵額(b−a)		0											
予算額・	況		度繰越額	_												
執行額 【単位:千円】			† (b+d)		0,185		0									
(「交付金」+	B. 執行済額 うち交付金充当額				0,185											
「市町村負担」 ベース)				-	8,148											
	次年度繰越額 執行率(%)(B/A)				0											
	執行	丁举(%	6) (B/A)	10	00.0%											
	予:	算の状況	兄の説明													
										ì	達成状	況				
		Н	24活動目標	票(指標)		24年度			:	25年度		26	6年度		27年度	
				び畜産業に関連す 現況調査・分析等	目	標 (3地点、8項目) (() ()	()	
江梨口悟				施(3地点 8項目)	実	績	3地点、8項目									
活動目標 (指標) 及び達成状況					目	標 (() () () ()
					実	績										
	達成状況説明	市 P モニ:		豚舎等で水質改変 なを委託実施し、3よ							する特	持定悪 臭	- 物質の成分	℩現況	調査・分析等	; o
		Н	24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年度		25年	度	26年度		目標値 (年度)	
	る特別	定悪臭物	物質の成分	び畜産業に関連す現況調査・分析等	目	標 (-		3地点 8項目) ()	())
	のモ	ニタリング	グ調査を実	施(3地点 8項目)	実	績			3地点 8項目						/	
成果目標(指標)	【参考	背指標 】			目	標 () () ()	())
及び進捗状況					実	績										
	進捗状況説明	モニ		豚舎等で水質改変ミ セを委託実施し、3 b							する特	持定悪 臭	4物質の成分	℩現況	調査∙分析等	[:] න

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	水質改変装置を3地点に設置し、臭気を軽減させる効果の有無について、合計6回調査分析を行った。水質改変装置を設置したことによる臭気軽減の明確な効果は得られなかったが、豚舎からの悪臭に対する課題解決を図るため、他の臭気軽減の方法等も含め、今後も検証していく必要がある。	今回調査結果が得られなかった夏場に設置し、豚舎での効果の検証や、他 の臭気軽減方法も含め、今後も検証していく必要がある。

5地点に水質改変装置を設置し、夏場やより長期間の効果の検証を独自に行っていくとともに、他の悪臭低減方法も模索する。

総事業費	事業費 事業費 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費
10,185	10,185	8,148	2,037	0



- 委託業務内容
 ・水質改変装置設置
 ・サンプリング
 ・データ整理、解析
 ・報告書作成

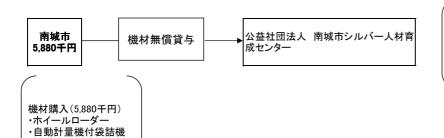
資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金の	0	支出先の選定方法は妥当か。					
途の流れ、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○指名競争入札により適正に業者選定を行った。				
快費価目	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○旧石駅芋入札により週上に未有選定を行うだ。				
• Im C	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名		i	南城市												
	平	成 2	4 年度	中縄振興特別	推進	交付	金事業(市町	村分)検	証シ	- 1- 1	公表用】		
事業番号 ・事業名	6	-⑦		環境浄化	シエコリ	サイクル	/事業				21世紀		第3章	-1-	-(2)-ア
7*1			<u> </u>		- Table 1	* = ++				基本	計画該	当箇所	3Rの推進		
担当部課名	産業	建設部	産業振興	課		業実施 定)年度	平成24年度	Ę			振興基 該当箇		Ш	—10	- (1)
事業内容			しい南城市 売に取り組む	のまちづくりを推進 む。	するたと	め、市内	で回収した伐	採草木	及び市口	内食品	工場等	から排出る	される生ごみ	を利用	用した腐葉土の
実施方法		■直接実	尾施	□委託 □	l補助		□負担	ロそ	の他)				
				24年度		25	年度		26年度	Ę		27年度	ŧ		28年度
	予		779年		,017										
	算	(b) 予算		6	,017										
	の状		成額(b−a)		0										
予算額・ 執行額	況	, , ,,,,	F度繰越額	_	047		0								
【単位:千円】			計 (b+d)		,017		0								
(「交付金」+	B. 執行済額			5,880 4,704											
「市町村負担」 ベース)	うち交付金充当額 次年度繰越額			4	0										
	執行率 (%) (B/A)			0	7.7%										
				当初予算より137 施した他、活動目標									ー 画していた事	事業内	日容はすべて実
	1104年制日神(七年)									達成	状況				
	H24活動目標(指標)						24年度			25年度	ŧ	26	6年度		27年度
	ホイールローダー1台				目	標(、 ホイルロータ 袋詰機1		()	()	()
活動目標	日虭	計重機1	付袋詰機1台	i 	実	績	ホイルロータ゛ 袋詰機1								
(指標) 及び達成状況					目	標(()	()	()	()
					実	績									
	達成状況説明		イールロータ	ダー1台、自動計量核	幾付袋記	吉機1台3	を購入した。								
		Н	24成果目標	票(指標)			基準値 (23年度)		24年度	Ę	25	年度	26年度		目標値 (25年度)
			-ダー1台		目	標 (0台) (*	イルローダ 1 袋詰機1台	台)	()	()	()
			付袋詰機1台	<u> </u>	実	績			イルロータ [*]						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考	背指標 】			目	標 () ()	()	()		()
从心理沙狄 州					実	績									
	進捗状況説明	/l≈l :	葉土の精算	販売に必要な機材((ホイル	-ローダ1	台、自動計量	出器月袋	詰機1	台)を購	・ 入し、ク	ブリーンエ	コセンターに	貸与	∪t=。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	生ごみ、家庭ごみの収集方法の確立及び、ごみ減量化に対する市民の意 識向上が必要である。	生活環境課、産業振興課及びシルバー人材センターの連携を強化し、循環型環境事業の実施等、ごみの減量化を推進する取り組みが必要がある。

グリーンエコセンターにおいて、伐採等により生じた草木を生ごみや堆肥等と混ぜ合わせて腐葉土を生産・販売し、循環型環境事業の実現と可燃ごみの減量化を目指す。関係機関の連携強化により、特定の公共機関だけでなく各家庭等からも生ごみ等を回収し、事業拡大を目指す。

総事業費	交付対象 事業費 交付金 充当額		市町村 負担金	交付対象 外経費
5,880	5,880	4,704	1,176	0



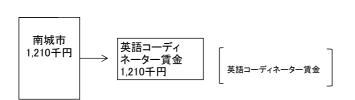
- 活動内容・草木、生ごみ等の回収
- ·腐葉土生産、加工、販売

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
使金金の	0	支出先の選定方法は妥当か。					
流れ、	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・ 指名競争入札により適正に業者選定を行った。				
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	相句 就 ず 八 化 により 週 止 に 未 有 迭 足 で 1 」 り に 。				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					

市町村名			南城市														
	平	成 2	2 4 年度	中縄振興	特別推	進交付	金事業	(市田	<mark>订村分</mark>)検	証シ	- - - -	公表用				
事業番号	7	'-①		英	語コーディス	ネーター配	置事業			沖縄2	1世紀	ビジョン	第3:	章-5	-(4)-ア		
・事業名							_ • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			基本	計画該	当箇所	国際社会、 教育の推済	.情報 [:] 作	社会に対応した		
担当部課名	教育	部	教育指導課			事業実施 予定)年度	平成24年	度			振興基 該当箇				- (1)		
事業内容			とな人材を育成 も語の授業を発		英아人国作	会話能力0	り優れた講	師を教育	î委員会	こ配置し	、英語	教諭及び	ALT等へ <i>の</i>)授業で	牧善や、小学校		
実施方法		■直接	美実施	口委託	口補助	助	□負担		その他	()							
				244	年度		5年度		26年月			27年月	度		28年度		
	予		当初予算額		1,158												
	算		多算現額		1,210												
	の 状		曽減額(b−a)	_	52	-											
予算額・ 執行額	況		f年度繰越額 計(b+d)	_				0									
【単位:千円】			h行済額		1,210			0									
(「交付金」+ 「市町村負担」	<u>;</u>		₩1」/月韻 5付金充当額		1,210 967												
ベース)			世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世紀 世		C												
	執行率 (%) (B/A)				100.0%												
	予算の状況の説明・英語授業の質の向)質の向上?	を図るため	、勤務日数	を増やし	、当初予	5算から	賃金を	52,000円均	曽額補正した	た。			
	H24活動目標(指標)										達成	伏況					
						Γ	24年	度		25年度	26年度				27年度		
	・英語コーディネーター配置数 (市教育委員会)						(1.) ()	() ()		
W-51 - D-15						実績	1,										
活動目標 (指標) 及び達成状況						目標	() ()	() ()		
						実 績											
	達成 状 外国人や英会話能力の優れた講師 対ることができた。 説 明				た講師を教	(育委員会)	に配置し、芽	英語教諭	ì及びAL	T等へ <i>の</i>	授業改	(善や、小	学校におし	で英語	吾の授業を実施		
			H24成果目標	票(指標)			基準値 (年度		24年月	度	25:	年度	26年月	隻	目標値 年度)		
			ディネーター エロスン	记置数		目 標 (1人) (1人) ()	()	()		
			委員会) 			実績			1人								
成果目標 (指標)	【参考	き指標				目標() () ()	()	()		
及び進捗状況						実 績											
	進捗状況説明	外す	国人や英会記 ることができ <i>†</i>		た講師を教	な育委員会(に配置し、対	英語教諭	ì及びAL	T等へ <i>の</i>)授業改	(善や、小	学校におい	いて英語	吾の授業を実施		

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	本市の小学校における英語活動は、学級担任とALT等によるチームティーチングが基本である。しかし、学級担任やALT等がそれぞれの役割を把握していないことが多く、活動内容がぶれたり、児童が困惑する場面があった。英語コーディネーターが授業を見学し、指導・助言を行うことで、英語授業の質が向上した。(英語コーディネーターは、ALTに代わり一部の学校で児童へ直接指導を行う場合もある。)	を同席させ、英会話が不十分な学級担任と日本語会話が不十分なALT等との間のコミュニケーションをサポートする必要がある。
	A44 ∧ Tm 1145	1 7. + 41

平成25年度においても市教育委員会に英語コーディネータを1名配置したい。



総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村負担金	交付対象 外経費
1,210	1,210	967	243	0

資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明					
使金の流の流	0	支出先の選定方法は妥当か。	○英語コーディネーターについて、南城市臨時職員の給与					
が点れ、検	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	等に関する規則により任用しており、妥当であったと考えて いる。					
評費価目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する 類により確認、適正であった。					
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						

市町村名			南城市												
	平	成 2	4 年度	中縄振興特別	推進3	と付	金事業	市田	丁村分)検	証シ	- - - -	【公表用]	
事業番号	7	- (2)		小中学校学	羽教安空訓	周設備	整 備重業			油縄の	1 ## \$2	ビジョン	第3章	±−5	-(3)-ウ
・事業名				7.11-7.67			正매子不					当箇所	時代に対応 くりの推進	する	魅力ある学校づ
担当部課名	教育	部 教	育施設課		事業3		平成24年原	芰	•	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ —3—(1)					- (1)
事業内容				かな人格形成を図る				≿•快適	な学習環	景境を保	持でき	るよう空調	割設備を整備	iする。	
実施方法		直接到	実施 —————		口補助		〕負担		その他						
	_			24年度		25:	年度		26年月	隻 一		27年	变		28年度
	予		切予算額		1,414										
	算	(b) 予算			582										
	の状		或額(b−a)		832										
予算額 · 執行額	況		F度繰越額 	_											
【単位:千円】			計 (b+d)		582										
(「交付金」+	ı	B. 執行			582										
「市町村負担」 ベース)			计金充当額		465										
		次年度			0										
	科 1	厅举(9	6) (B/A)		00.0%										
	予	算の状況	況の説明	・832千円の減額だ 他、活動目標、成								計画してい	ハた事業内容	学はす	べて実施した
			≖ / + /-, 1 -≖ \							達成	状況				
	H24活動目標(指標)					24年月	支		25年度	Ę	2	6年度		27年度	
			井吊形設置工事 な室空調機天吊り形2台設置)		目標	Ē (2台) ()	()	()
W. E. D. J.	(3/)	21170.2	三工品的及入口	1,7/1/2 日	実 絹	į	2台								
活動目標 (指標) 及び達成状況					目標	F () ()	()	()
					実 絹	Ę									
	達成 状況 説明			舌動目標(扌	指標)た	が達成できた	-0								
		ŀ	H24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年月	度	25	年度	26年度		目標値 (年度)
	/=		周機天井吊牙		目標	! (0台) (2台) ()	()	()
			(至至調機)	F吊り形2台設置)	実 絹	Į	/		2台						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参表	【参考指標】			目標	() () ()	()	()
					実 絹										
	進捗状況説明	知念	一一で	尿庭科教室に空調	—— 機を2台設	置し、፤	夏場における	 る安全・	快適な学	产習環境	が整っ	 :t:。			

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	空調機を整備することにより、電気代等の維持管理費が負担となる。	太陽光や風力発電などを利用することにより、電気代の節約や地球温暖化防止を図る。
	A // - T- 11 AT	7 a -t-A1

平成25年度中に市内小中学校等に空調設備を16台整備したい。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
582	582	465	117	0

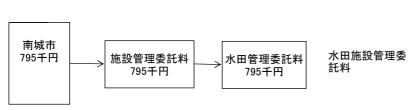


資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使途の流れ、	0	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、指名競争入札により業者を選定しており妥当と			
	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	るまでいる。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも			
評費価目	0	受益者との負担関係は妥当であるか。	のなのか等について支出等に関する書類により確認、適正			
一	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	−であった。 			

市町村名			南城市													
	平	成 2	4年度》	中縄振興特	 別推	進交付	金事業	市町	村分)検	証シ	-	【公表用	3]		
事業番号	7	7-(3)		÷	₽水走水E	田園体験事	業			沖縄2	21世紀	ビジョン	第3	章-5	ー(3)ーイ	
・事業名							-1-				計画該		豊かな心育の推進	とたくま	しい体を育	む教
担当部課名	教育	部 教	育指導課			事業実施 予定)年度	平成24年原	度			振興基 該当箇		H V/IE/E	ш-з	- (1)	
事業内容	将3 て、位	来を担 ^っ 本験学	う感受性豊 <i>か</i> 習プログラム	◇な児童の育成 の一環として稲	を図るたり 日栽培をす	め、沖縄の ≷施する。	稲作の発祥は	也とされる	る本市ロ	こあるき	受水走力	く(うきんじ	こゅはいんし	こ ゆ)のフ	k田施設には	おい
実施方法]直接	実施	■委託	口補助	助	口負担	□そ	の他	())					
				24年[年度		26年度	ŧ		27年月	隻		28年度	
	予		初予算額		795											
	算		算現額		795											
	の状		減額(b-a)		0											
予算額 · 執行額	況		年度繰越額	_	705											
【単位:千円】			計(b+d) 行済額		795		0									
(「交付金」+	,		仃 <i>)</i> 角頟 付金充当額		795	-										
「市町村負担」 ベース)			繰越額		635											
	_		%)(B/A)		100.0%											
	予算の状況の説明															
										達成	状況					
			H24活動目標	票(指標)		Γ	24年月			25年度	<u> </u>	2	 6年度		27年度	
					目標	(453人	,)	()	() ()	
	田園体験学習人数				:	実 績	467人	,								
活動目標 (指標) 及び達成状況						目標	()	()	() ()
						実 績										
	達成 状 況 説 明					【体験学 習	に参加した。									
			H24成果目標	票(指標)			基準値 (年度)		24年度	ŧ	25	年度	26年	度	目標値 年度	<u>i</u>)
						目標 () (453人)	()	()	()
	田園	体験学	習人数		:	実績			467人							
成果日標 (指標)	【参考	き指標 】				目標() ()	()	()	()
及び進捗状況						実 績										
	進捗状況説明	沖糸 を存	出における稲 体験させること	作発祥の地とさ とで、地域の歴	される、本 史や食文	ホにある。 化を学ぶ材	受水走水(うき 幾会を設ける。	んじゅは ことができ	いんじ	ゆ)の水	田施設	において	、市内の小	学生に	田植えや稲	当刈り

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	かつて本市において稲は各地域で栽培され食されてきたが、現在、稲の栽培は行われてないため、日頃、主食としている米の栽培を知らない児童が多け、沖縄の稲の発祥地とされる当地において、田植えと稲刈り等を児童へ体験させることにより、食文化や地域の歴史を学習することが出来た。	
	A 44 A Ph I 45	1 7. → ΔI

市総合計画基本方針の学校教育の充実に資するため、体験学習プログラムの一環として稲作体験を行うことにより、児童生徒の勤労観、職業観を育てる体験学 習事業として、平成25年度以降も継続して実施したい。



総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費			
795	795	635	160	0			

資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明				
受途の点検評価	0		│ ○水田施設管理委託料について、市と施設管理人との間で 委託契約を締結し支出をしているので、妥当であったと考え 「ている。				
	0	予算規模は事業内容に見合った適止な規模となっているか。 					
	_		〇費目・使途については事業目的達成の観点から必要なも のなのか等について額の確定時において支出等に関する書				
	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	類により確認、適正であった。				

市町村名		南城市										
	平月	成24年度	<mark>中縄振興特別</mark>	推進交	付金事業	(市町	村分)村	検証シ	- ト	【公表用]	
事業番号 ・事業名	8-	-1)	文化のまちづ	ぶり実行委 員	員会支援事業		沖縄	21世紀	ビジョン	第3章	1-1-(5))ーア
* 争未石				=# =	Mr.		基本	基本計画該当箇所		文化資源を活用したまちづくり		きちづくり
担当部課名	企画	部 まちづくり推	進課	事業実施 (予定)年		丰度	沖紅	選振興基 該当箇		П	I-3-(2)
事業内容		成伝統文化の継承 種公演、研修事業	及び観光振興を図る を実施する。	うため、南城	市文化センタ	一を拠点に	芸能公演、』	夏休み短	期音楽ス	クール、ボラ	ンティア育	成事業等
実施方法]直接実施		■補助	口負担		の他()				
	_	(a) 业如又答应	24年度 	100	25年度		26年度		27年月	支	28年	<u>-</u> 度
	予	(a) 当初予算額 (b) 予算現額		.059								
	算の	(c) 増減額(b-a)		,039								
予算額・	北	(d)前年度繰越額		,070								
執行額	<i>1)</i> L	A. 計 (b+d)	4	,059		0						
【単位:千円】		B. 執行済額	4	,059								
(「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	3.	うち交付金充当額	3	,246								
~ ~ ~	Ş	欠年度繰越額		0								
	執行	元率(%)(B/A)	10	0.0%								
	予算	算の状況の説明	不用額1,070千円: が減ったため、減額									
			- /					達成	状況			
	H24活動目標(指標)				24年	F度	25年	度	2	6年度	27	年度
	主要イベントへの運営費補助			目標	(4	件)	()	()	()
注影口悟		1 01 WEB	Z (m <i>1</i> 9)	実 績	4.	件						
活動目標 (指標) 及び達成状況				目標	()	()	()	()
				実 績								
	達成状況説明	・賈鵬芳(ジャー ・心ぽっかぽか:	レ発地域めぐり出前	- F			助した。					
		H24成果目標	票(指標)		基準値 (23年)		24年度	25	年度	26年度		目標値 年度)
	・賈鵬		コンサート 495名	目標	(–) (2	2,409人)	()	() ()
	•シュカ • 7th'	 ・心ぽっかぽかコンサート 400名 ・シュガーホール発地域めぐり出前ステージ 1,100名 ・7th' Jazz in nanjo 414名 【参考指標】 					2,409人					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考				() ()	()	() ()
				実 績								/
	進捗状況説明	との認識をもたる ることができたも	ては、当初予定して れがちであるが、地 ものと考えられる。今 ことができるよう、多	域芸能や地 後もクラシッ	域で活躍する ックはもとより	人材を起用 、地域に根据	した多様な [.]	音楽の公	演を実施	することで、	多くの来場	湯者を迎え しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しょうしん しゅうしん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん し

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)							
取組の検証	南城市文化センターにおいては、クラシック専用ホールとしてはもとより、 多様なジャンルの音楽の公演を行い、幅広い客層から支持を得ている。更 なる誘客を図るためには、積極的な広報活動が必要である。	これまで実施してきた市内中心の広報だけではなく、市外や県外に向けて広 報活動を展開したい。							
	A # - 75-1147 4 - 1-A1								

南城市文化センターへの更なる誘客を図るため、他のホールの状況も参考にしながら、市外や県外へ広報活動を展開するとともに、クオリティの高い公演を開催したい。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,059	4,059	3,246	813	0



〔自主事業を実施に係る 経費の補助〕

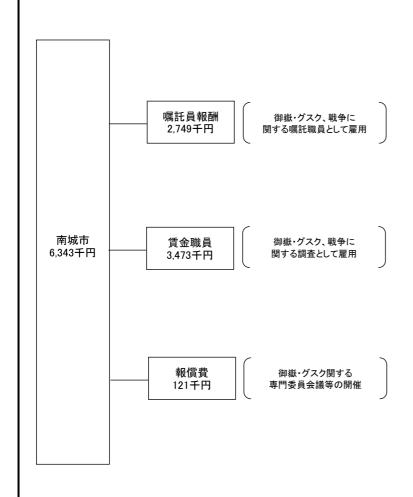
資	評価	点 検 項 目	評価に関する説明		
伊金の	0	支出先の選定方法は妥当か。			
点れ	0	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・本市において文化事業を実施する上で、文化施設を持つ実 行委員会へ支出は妥当である。		
使途の点検評価資金の流れ、費目	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	・また、予算に応じた事業を展開しており、それぞれが事業 目的に合致した支出となっている。		
-	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		南城市												
	平成2	4 年度	沖縄振興	<mark>恃別推</mark>	進交付 :	金事業(市町	村分)	検	証シ	- ト l	公表用)	1	
事業番号	8 一② なんじょう歴			ょう歴史で	歴史文化保存継承事業				沖縄21世紀ビジョン		ばジョン	第3章-1-(4)-ア		
・事業名									基本計画該当箇所			沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり		
担当部課名	教育部 文化課				事業実施 (予定) 年度			沖縄振興基本方針 該当箇所		本方針	Ⅲ −3−(2)		- (2)	
事業内容	本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御刻数多く残る地域である。これら貴重な文化遺成			§場御嶽」、 文化遺産を	国指定文 後世に引き	化財「グスク等 き継ぐことを目	∮」の多く 的になん	(の歴史: んじょう!!!	遺産、 歴史文	琉球王 化保存	朝時代か 継承事業	ら引き継がれ を実施する。	れた精	神文化が今も
実施方法	■直接	実施	口委託	口補助	ի (□負担	口その	の他()					
			24年		25	年度		26年度			27年月	ŧ		28年度
	7	初予算額		10,599										
	算	算現額		6,343										
	状	減額(b-a)		▲ 4,256										
予算額・ 執行額	況 (d) 削:	年度繰越額	_	0.040		0								
#X1」 【単位:千円】	B. 執行	計 (b+d)		6,343		0								
(「交付金」+ 「市町村負担」	!	门 <i>)</i> 有領 付金充当額		6,343 5,075										
ベース)	次年度			0,073										
	執行率(100.0%										
	予算の状	況の説明	不用額4,256 た、残りの2,30 ず不用額とな	64千円は訓	5、1,892千 調査員を賃	円は専門委員 金として6名)	 員の日程 雇用する	調整がつ	つかず ったが	 、予定 、年度 、	していた回 金中雇用	型数(10回)を 者2名を含め	開催で て5名	ぎきなかった。ま しか雇用でき
				達成状況										
	ı	H24活動目材	票(指標)		Γ	24年度		2	25年度		26	 i年度		27年度
)		E	目標((60字)	()	()	()	
				9	€ 績	60字								
活動目標 (指標) 及び達成状況			E	目標 (()	()	()	()	
				5	€ 績									
	達成状況説明	也調査(聞き	取り、現場確認	忍、写真撮影	杉、採寸等)及び文献に	よる調査	を60字	で行っ	<i>t</i> =。				
		H24成果目	票(指標)			基準値 (23年度)		24年度		25:	年度	26年度		目標値 (年度)
	御嶽・グスク等調査件数		E	目標 (0字) (60字) ()	() ()	
			3	€ 績	/		60字	Ц						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】			E	目標 () () ()	() ()
次い足が仏沈				5	€ 績									
	進捗状況説明	也調査等によ	より、これまで矢	ロられていた	なかった文	化財等の由き	とや場所	の特定を	をする	ことがて	ごきた 。			

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)					
取組の検証	高齢化等により、文化財等の場所や由来等について知っている方が減少したため、十分に調査ができない箇所(個票が空欄の部分)があった。	文献調査等をもとに更なる調査が必要。また、場所の特定については聞き取り、文献の情報をもとに現地調査してその場所をGPSで記録をするなど後世に残せるような形で行う。					
今後の取り組み古針							

十分な調査ができなかった点等については、できる限り情報収集した上で、専門委員へ引き継ぎ、発刊の準備を行いたい。

総事業費	交付対象	交付金	市町村	交付対象
	事業費	充当額	負担金	外経費
6,343	6,343	5,075	1,268	0



資使金	評価	点 検 項 目	評価に関する説明			
使途の流れ、	0	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、御嶽・グスク及び戦争に関する調査に必要な 嘱託職員、賃金職員、専門委員への人件費であり、妥当で			
	0					
評費価目			,			
- IMI (C)	0	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				